

地方史情報 135

2018年3月

戦国期政治史論集

戦後史研究会

本書『戦国期政治史論集 東国編』『同 西国編』は、戦国史研究会が、2017年12月の山田邦明代表委員の還暦を機に、論文集として刊行するものである。

15世紀の内乱を経て展開した戦国時代は、日本史上における変革期にあり、この時代の政治・社会への追究は絶え間なくおこなわれ、常に活況にある。こうした研究動向のなかで、本会は、後北条氏研究会（1969年11月発足）に端を発し、その後、東国戦国史研究会として再発したうえで（1979年10月）、戦国史研究会（1985年2月）として発展を遂げて来た。そして、現在では420名もの会員数を有するまでになっている。また、月一回のペースでおこなっている例会報告や機関誌『戦国史研究』に掲載された論文は、地域的には東国に留まらず、畿内や西国にも及ぶようになり、時代的にも15世紀後半から17世紀初頭を研究対象とするなど、広範にわたる成果が年々増えている状況にある。

この間に、通常例会と異なる遠隔地での交流を図った地方例会を1998年から隔年で実施しているほか、その時々々の戦国史研究の動向に応じたシンポジウムとして、1995年7月には「戦国時代の郷村―北条・武田・今川領国を事例として―」、2000年5月には「戦国大名再考」、2010年6月には「織田権力論―領域支配の視点から―」、2017年7月には「戦国期における大名と「国衆」」（室町期研究会後援）を開催してきた。さらに、成果論集として『織田権力の領域支配』（岩田書院、2011年）や四国中世史研究会との共編で『四国と戦国世界』（岩田書院、2013年）を出版したほか、2015年3月からは『戦国史研究会史料集』の刊行を始めるなど、成果を世に問う活動を積極的に続けている。その活動のなかに、本論集の刊行もある。

そして、こうした戦国史研究の動向や本会の活動状況を反映してか、本論集にも、実証に基づいた政治史を主題とし、対象地域が東北から中国地方におよぶ多くの論考が集まった。そこで、本論集を『戦国期政治史論集』と題し、地域ごとに編集した結果、東国編と西国編の二巻構成とし、その構成に合わせて各論考を収載することにした。本論集の刊行が、さらなる戦国史研究の進展に寄与を果たすことが出来たならば、幸甚である。

（『戦国期政治史論集』東国編・西国編、2017.12、小社刊、「刊行にあたって」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 コーポ望 TEL011-299-6834 年5000円

◇65 2017.10 B5 12p

青森県の青森という地名の謎 杉山 武
タブコブの解釈 山下 栄光

資料紹介 『北海道新冠地方におけるアイヌ語地名の調査と分析』アイヌ・先住民研究センター博物館プロジェクト/アイヌ・先住民言語アーカイブプロジェクト報告書 戸部 千春

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
TEL011-761-8014 年3000円 1985年創刊
www.2ocn.ne.jp/~history/

◇62 2017.10 B5 80p 1000円

歴史を語る文化財の重み 後藤 良二
遺稿 先人たちの足跡を教訓とし

て屯田会の大同団結を 新國 辰男
一已屯田兵の魂を受け継ぐ

惺々獅子五段ぐずし舞保存会 梶田 博昭
北海道農法と屯田兵(上)

ーブラウ農耕を中心として 江口 憲人
屯田兵のデザイン考 屯田兵の徽

章(深川市郷土資料館所蔵)

「規格外の軍隊」シンボライズ

特集 琴似屯田兵から大尉に昇進

三澤毅氏の日記 兵村の日常を

綴った「諸扣帳」全文(下)

古地図の散歩道 新撰 帝国道中
記(明治28年刊・国立国会図書館所蔵)

列島縦断 旅のガイドブック 宮内 隆一
表紙から 蚕織報文 明治10年12

月刊 編者・開拓使勸業課 編集部

一節抜粋 牧口準市著『箱館戦争

裁判記一榎本益次郎外数名糾問

並所置事件一』、加藤良男著『19

世紀後半のサッポロ・イシカ

のアイヌ民族』

北海道移民史を語る旅(最終回)

続・大戦中から戦後へ 東北・

北陸・四国に多かった北海道移

民 北国 諒星

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220
hokkaido-bunkazai.jp

◇363 2017.9 A4 8p

舞われて125年

伝統芸能 丘珠獅子舞 遠藤絃之助

「北海道文化財保護強調月間」始

まる “見て感じ 心にきざむ

文化財” キャッチフレーズ/

シンボルマーク

北海道教育庁文化財・博物館課

松浦武四郎天塩川踏査160年記念

展 士別市立博物館/名寄市北

国博物館

縄文遺跡群の世界遺産登録推進の

現状 北海道教育庁文化財・博物館課

近藤富枝著『日本美術に見るきも

の』を読む 舟山 廣治

「廻船問屋」先祖は敦賀 新宅 秀之

琴似屯田 北海道最初の兵村 永峰 貴

史跡 旧奥行白駅通所

主屋保存修理始まる 戸田 博史

古文書調査の取り組み

寿都高校ボランティア部 東田 秀美

観る・学ぶ! 道内博物館・美術

館・文学館の催事情報

映画に学ぶ トークと資料展 増田 信行

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館

〒093-0042北海道網走市潮見309-1

TEL0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

◇106 2017.9 A4 6p

館長講座 北の人と言葉

講師:津曲敏郎 種石 悠

講座 北海道博物館紀行「旭川市

博物館」講師:瀬川拓郎氏 笹倉いる美

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34

岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

1970年創刊

◇272 2017.9 A4 12p

遺物が語る郷土の歴史 花立II遺

跡 均整宝相華唐草文軒平瓦

(重要文化財) 鎌田 勉

文化・スポーツ部における民俗芸

能振興の取組について 中里 裕美

後藤新平生誕160年を迎えて 佐藤 彰博

郷土研究・台湾研究の人「伊能嘉

矩」生誕150年を迎えて 小向 孝子

「チョウセンアカシジミ救出大作

戦!」 長谷川 真

わが館の文化財 盛岡市遺跡の学

び館 日本最大級の縄文土器 日野杉潤子

国指定名勝「イーハトーブの風景

地」について 中村 英俊

国指定名勝 イーハトーブの風景

地(1)「七つ森」 柴田 慈幸

被災地の発掘調査現場から(11)

石峠II遺跡 北村 忠昭

◆市史せんだい 仙台市博物館

〒980-0862仙台市青葉区川内26

TEL022-225-3074 1992年創刊

www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/

◇27 2017.9 A5 128p 500円

表紙写真解説 伊達政宗黒印状

(文禄5年9月11日) 長澤 伸樹

特集 伊達政宗生誕四五〇年

伊達政宗と母養姫一毒殺未遂事

件と弟殺害について 佐藤 憲一

『伊達天正日記』所収「野臥日

記」の一考察一政宗による民

衆の軍事動員を考えるために

遠藤ゆり子

伊達政宗の顕彰と青葉神社 栗原伸一郎

伊達政宗の茶畑 菅野 正道

史料紹介

伊達政宗文書・補遺(11)

◆道鏡を守る会 道鏡を守る会

〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35

本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円

1985年創刊

◇40 2017.9 B5 100p 1000円

講演「道鏡事件はあったか?!」 中西 康裕

会誌を受け取り(おたより)

会誌を読んで 佐伯 眞登

会誌を手にして 菊地 卓

会誌38号本誌試論に関し

K氏の異論に関して 船生 史郎

道鏡通信に震災通信同封に関し
て 篠原久良子

38号本田試論補足的に
博多川は？ 山丈 明美

田中龍夫氏よりのアドバイス5点
万葉集より難波宮・弓・奴婢関
連紹介 本田 義幾

「賤民は僧になれない」の僧尼
令紹介 高橋 義泰

由義宮歌垣 船生 史郎

9・16、2・18 由義寺跡発掘調査
報道に関し 現地説明会に参加
村田 和義

学びの不足、再発見、試論
道鏡を見直す 鈴木 暁子

今、宇佐八幡神託事件(道鏡事件)
を取り上げる意味 本田 義幾

道鏡事件はなかったのか？ 和気 正芳

生前退位の報に接し 田村新太郎

宇佐八幡神託事件に関わって 大塚泰二郎

朝護孫子寺について 田中 龍夫

東弓削遺跡・弓削寺跡 山丈 明美

道鏡関連文献紹介と飯泉山観世音
略縁起の読み 高橋 義泰

奈良朝の人物と政変と(瀬浪貞子
氏ご著書参考に) 青木 薫

現世からの別れに私が住む古河の
大地に思いを寄す 川島 恂二

追悼Ⅰ 隠れたる大家・川島先生
を偲び 本田 義幾

追悼Ⅱ
中西氏と工藤氏を惜しんで 本田 義幾

八尾発掘新聞記事より
宇佐八幡宮 高橋 昭夫

日本語の語源をたどる 鈴木 暁子

道鏡の呪術的・密教的仏教及び
百万塔について 森本 裕之

◆歴史 東北史学会
〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大
学院文学研究科 日本史研究室
Tel.022-217-6064 年4000円 1949年創刊
www.saltohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/
◇129 2017.10 A5 121+29p 2100円
奥州伊達氏と室町幕府 早川 礼応
帝国日本の能の展開と連鎖―「日
本精神の国粋」とその担い手 徐 禎完
米ヶ森技法における石核素材獲得
方法―秋田市 下堤G遺跡の事
例 神田 和彦
新発田藩領における献金と格式 安宅 俊介
学界動向 中国仲介業研究の視座
―明清時代を中心に 錢 晟
書評
片岡耕平著『日本中世の穢と秩
序意識』 服藤 早苗
高橋陽一著『近世旅行史の研究
信仰・観光の旅と旅先地域・
温泉』 妙木 忍

◆秋田近代史研究会会報
〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1
柴田知彰方 Tel.018-807-3290 1958年創刊
www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm
◇177 2017.10 A4 2p
2017/秋季研究会のお知らせ 報
告 高橋一倫氏「農村の青年達
と日露戦争―高橋吉之助の生涯」、
高橋邦幸氏「太平洋戦争末期に
おける陸軍の六郷飛行場造成に
ついて」

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化
出版内 Tel.018-864-3322 1974年創刊
◇119 2017.9 B5 4p

秋田風俗絵巻に描かれた二人の裸
の男 新谷 正隆

◆秋田歴研協会誌
秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化
出版内 Tel.018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇65 2017.9 B5 26p
特集 春の歴史フォーラム「災害
Ⅰ 災害の歴史と考古学」
平安秋田を襲った火山噴火と地
震 宇田川浩一
景勝地・象潟の成り立ちと地震 齋藤 一樹

用語解説
人口―秋田藩の農民人口 半田 和彦
歴史情報 幕府領小砂川の概要(3)
明德館専門郷土史同好会



*「災害の歴史と考古学」を特集する。平安
時代の秋田は、多数の被害者を出し、飢饉な
どによって人間生活に大きな影響を与えた地
震と火山噴火に、それぞれ2回または3回襲
われている。宇田川浩一「平安秋田を襲った
火山噴火と地震」は、その中から、800年代
の払田柵跡に関わる地震と、915年の十和田
火山噴火によって埋没した片貝家の下遺跡の

状況を考古学的見地から紹介するものである。
前者では出羽国司が駆伝で伝えた報告がある
という。しかし、考古学的な証拠と文献記録
は必ずしも一致しない。宇田川氏は遺跡・遺
構の継続年代に対する詳細な分析と文献記録
の綿密な検討を相互に行うことの必要性を指
摘する。齋藤一樹「景勝地・象潟の成り立ち
と地震」は、2500年前の鳥海山の噴火で誕生
し、西行、芭蕉らによって歌枕にされながら
文化元年(1804)の地震で消滅した景勝地象潟
の保護と地名の推移を述べたものである。旧
象潟町は平成17年の合併により消滅し、にか
ほ市と名を変えたが、住民の希望で大字名と
して残されたという。自然災害の記憶として
地名が残されたことは何よりであった。

◆庄内民俗 庄内民俗学会
〒997-0036山形県鶴岡市家中新町10-18
致道博物館内 Tel.0235-22-1199
1951年創刊
◇37 2017.10 A5 72p
佐藤光民先生を偲ぶ
故佐藤光民先生について
(略歴・著作目録)
再録 鎌倉の弓祭り～西田川郷
念珠ヶ関村鼠ヶ関 佐藤 光民
ミツタミ先生を偲ぶ
思い出とともに 岡田 照子
佐藤光民先生を偲ぶ 後藤 義治
なぜ甕りの山なのか 春山 進
出羽三山信仰を描いた映像記録 岩鼻 通明
肘折口 渡辺 幸任
高寺集落と高寺八講についての一
考察 渡部 幸
庄内における式三番叟 齋藤 冬華
図書紹介

『花守と介次郎 明治を担った
小城の人びと』佐賀大学地域

学歴史文化研究センター 岩鼻 通明
『出羽三山信仰と月山筈』渡部
幸任、『大鳥の輪郭 大鳥民
俗誌』田口比呂貴、『続々「庄
内のかたち」秘話あれこれ 土
蔵サロン小講話集』、『大泉叢
誌』第2集・第3集・第4集 本間 豊

◆米沢史学 米沢史学会

〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1
山形県立米沢女子短期大学日本史学科内
TEL0238-22-7330

◇33 2017.10 B5 146p

死後世界の形成と熊野観心十界曼
荼羅 小栗栖健治
「長尾政景夫妻画像」にみられる
信仰と供養のかたち—阿弥陀
仏、位牌、列記された法名から
の考察 加澤 昌人

酒田光丘神社創建反対運動と荘内
育英会設立の関係およびそれら
をめぐる郷土新聞の報道姿勢に
ついて—『鶴岡日報』山口白雲・
菅井胡堂の論説および『山県日
報』荒川重威の「宗教欄」設置
と角張東順の宗教論を中心に 布施 賢治
宮座における歩射儀礼
—結鎮・百手・オビシヤ 藺部 寿樹
史料紹介
史料翻刻 文政三年十二月伊勢
参宮道中記(1) 日本史学科第六研究室
『看聞日記』現代語訳(10) 藺部 寿樹

◆いわき地方史研究 いわき地方史研究会

〒970-8036福島県いわき市平谷川瀬字三十九
町56-5 大竹憲治方 TEL0246-22-6418
1965年創刊

◇54 2017.10 A5 80p

ケンディーと浄瓶 野坂 知広
いわき地方の石器石材からみる後
期旧石器時代の移動領域—茨城
県北部との比較から 石川 太郎
大越・江ノ上B遺跡の再検討—縄
文時代後期中葉の集落と配石墓
群および特殊遺物 野坂 知広

いわき地方の貝塚出土弓弭形製品
小考—寺脇貝塚・薄磯貝塚・相
子島貝塚の事例を中心に 大竹 憲治
畿外氏族出身の女孺に係る一考察
—於保磐城臣御炊の事例から 中井 忠和
明和二年小名浜住吉丸の安南国漂
流 小野 一雄
鮫肌覚書二 瓦吹 堅
杉孫七郎(聴雨)が詠んだ“勿来の
関”の漢詩考 大竹 憲治
「古堂取調書」に見える明治時代
の白水阿弥陀堂 渡辺 智裕

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history.fcps.or.jp

◇49 2017.10 A4 4p

奥州一大名所「義経腰掛松」の成
立背景 小野孝太郎
福島奉行平林正恒と富沢堤の構築
渡邊 智裕
村人たちの戊辰戦争(4) 山田 英明
長谷部家に伝わる石井可汲の書状
小野孝太郎
『会津漆取概説』 渡邊 智裕
明治二十年「獣医仮開業免状出願
者心得」 藤谷 誠

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12

号室 山田英明方 2015年創刊
◇19 2017.10 A4 2p
バーミンガム公共図書館を訪ねて
木戸多美子
フークトープ紀行(19)
大堀相馬焼(浪江町) 赤井 武史

◆ふおーらむ・F 福島県民俗学会

〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25
福島県立博物館内 2011年創刊
fukushimafolklore.jimdo.com

◇5 2017.9 A4 4p

研究会報告
平成28年度東北地方民俗学合同
研究会「地域おこしと民俗」内山 大介
地域持ち回り研究会 内山 大介
福島県内文化財の動き 海を渡つ
たじゃんがら念仏踊り 田仲 桂
展示見学記 愛媛県立歴史文化博
物館を訪問して 大山 孝正
noteから 悦五のミケランジェロ、
石川雲蝶の足跡を辿る旅 相原 達郎
Column 狼と馬と山の神 佐々木長生

関 東

◆近代史料研究 日本近代史研究会

〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内
TEL029-853-4066 2001年創刊

◇17 2017.10 A5 105p

南満洲行政統一問題と外務次官幣
原喜重郎—大正六・七年の外務
省を中心に 熊本 史雄
日露戦争期の本郷教会—『会員原
簿』と雑誌『新人』の分析から
水谷 悟

昭和戦後期秋田県の文書管理制度

の改革について—昭和二十年代

・三十年代 柴田 知彰
「昭和新政」と宮内省—総務課系
統の機構改革を中心として 二ノ宮幹太
「近代史料学」構築のための基礎
的研究 大正期滋賀県における
文書管理の実態—国立公文書館
所蔵『滋賀県文書整理ニ関スル
件』の紹介 中野目 徹

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865栃木県宇都宮市陸町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇105 2017.10 A4 4p

《特集 第27回大会報告
信仰のかたちを読み解く》
富島義幸氏講演「建築空間から読
み解く信仰世界—輪王寺常行堂
を中心として—」を聞いて 千田 孝明
大澤慶子氏報告「常行堂の阿弥陀
如来坐像について」を聞いて 深沢麻亜沙
佐々木茂氏報告「日光山と地域社
会」を聞いて 新井 敦史
齋藤氏の報告を聞いて 菊地 卓
今が旬! 館・展示・講座情報

なす風土記の丘第25回特別展
那須の歴史をひもとくⅢ 那
須の人々の心とほとけ—古代
から中世初期の仏教をたどる
山本 訓志
佐野市郷土博物館 全国山城サ
ミット佐野大会開催記念 第
66回企画展「佐野の城館跡—
唐沢山城とその支城」 北島 隆行

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346

1993年創刊 www.asahi-p.co.jp
 ◇49 2017.10 AB 36p
 《東吾妻町地域特集》
 歴史を掘る 遮光器土偶 松村 和男
 「上毛かるた」と「図書」 中山 勝文
 発掘情報
 下郷古墳群の掘建柱建物群 神谷 佳明
 図録 ぐんまの文化財
 東吾妻町の指定文化財 吉田 智哉
 ぐんまの歴史入門講座
 第184講 東吾妻町の原始・古代 高橋 政充
 第185講 吾妻の戦国史 青木 裕美
 第186講 巡検使が見た萩生村・大戸村—『天保巡見日記』を中心に 中山 剛志
 第187講 東吾妻町の成立 富澤 美昭
 第188講 東吾妻町の石造文化財 石造文化財の見方(38) 秋池 武
 古文書解説入門講座(36)—古文書から歴史を読む 寛永十一年榛名山社人と吾妻郡十二ヶ村界論裁許状 富澤 政美
 地域づくりと文化遺産 町指定史跡 岩櫃城の総合調査と保存活用 吉田 智哉
 ぐんまのくらしと民俗
 東吾妻町松谷松上の百八灯 鈴木 英恵
 ぐんまの地方豪族
 吾妻の領主・岩下斎藤氏 森田 真一
 ぐんまの川と生活
 吾妻川流域の動物相と生活 姉崎 智子
 ぐんまの人物誌 豪商 加部安左衛門—上州一の分限者 高橋 政充
 ぐんまの郷土芸能
 唐堀人形について 篠原 敏子
 ぐんまの地名 東吾妻町の地名 中村 倫司
 研究・学習サークル活動紹介

東吾妻町古文書に親しむ会 山口米三郎
 出版情報 地域の刊行物紹介 富澤 政美
 事業紹介 郷土図書資料の復刊と地域文化振興 唐澤 至朗
 ぐんまの自然と風土 長年守られてきた用水路の自然 中澤 和則

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
 〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方
 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇93 2017.10 B5 4p
 (続)河川名の語尾 澤口 宏
 全国地名研究者大会参加の記 井野 修二

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
 〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/

◇330 2017.10 A5 92p
 古代の灌漑用水路跡とされる「オンナボリ」の検討 飯島 義雄

新田氏本宗家の館と氏寺—新田義貞の「寺尾城」と「新田館」そして、安養寺の実像を求めて 須田 茂

天正期における後閑橋合戦と名胡桃城の変容 飯森 康広
 ヴィダルによるコンニャクの調査

報告について—富岡製糸場の勤務したフランス人医師野に本研究 須長 泰一

史跡箕輪城跡保存整備事業について 秋本 太郎

総会・地域研究会報告 平成29年度群馬県地域文化研究協議会総会、並びに第33回地域研究会(於太田市)の開催

竹内励／秋山寛行／長井歩
 ぐんま絹遺産紹介(5)

旧小幡組製糸レンガ造り倉庫 宇佐美智博
 碓氷峠鉄道施設 菅原 龍彦
 新刊紹介

市川浩史著『柏木義円と親鸞』 福田 博美
 久保康顕・佐藤喜久一郎・時枝務共著『山伏の地方史—群馬の修験道』 中村 茂

口絵 『剣崎天神山古墳出土の石製模造品』—群馬県立歴史博物館蔵品資料(131) 飯田 浩光

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
 www.l6.plala.or.jp/kuzira226/

◇251 2017.10 A5 56p
 橋紀行 利根川(1)

一矢木沢ダムから浅田大橋 輿水 泉
 龍海院の太鼓に刻まれた歴史 井野 修二
 群馬の市街地学ハイキング(2)

高崎市コース 高崎の丘陵縁辺部と台地のおいたち 中島啓治／矢島祐介／中村庄八

高山彦九郎日記による歴史散歩(59) 『北行日記』(18) 正田 喜久
 渋川市場での繰綿座と木綿 大島 史郎

金剛寺にある「齋藤管教師頌徳碑」を読む 北爪 隆雄
 支部だより

藤岡支部 仁科の里・大町と水の郷・安曇野 輿水 泉
 渋川市持支部 皇居東御苑・浜離宮と東京スカイツリー展望

新井 敏夫
 歴史散歩の報告(事務局企画)

千国街道(小谷)塩の道と糸魚川(新潟・長野県) 山崎 正
 旅のトラブルも思い出に(3) (山崎)

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1979年創刊

◇151 2017.9 B5 4p
 外願安堵国宣にみる新田義貞 山本 昂伯
 上杉定昌の五輪塔 四方田 悟

第36回講演会 原淳一郎氏「幕藩権力と寺社参詣—米沢藩の宗教政策と旅人統制—」 (藤井)

2017年度総会記事 (藤井)

◆我孫子市史研究センター会報
 〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
 岡本方 TEL04-7149-6404
 www.geocities.jp/abikosisiken/

◇188 (通495) 2017.10 A4 20p
 平成29年度 市史研究センター史跡見学会 参加記特集

新田・徳川氏発祥の地「世良田」と埼玉の小日光「妻沼・歎喜院聖天堂」を訪ねる—に参加して 飯白 和子

徳川氏遠祖の地「世良田」と埼玉の小日光「妻沼聖天堂」を訪ねる 関口 一郎

史跡バス見学会に参加して 鈴木 孝
 市史研古文書・新初心者講座に参加して 高橋 啓介

古文書初心者講座 感想 佐藤 健一
 近隣市町の歴史資料館見学(4)

龍ヶ崎市歴史民俗資料館 加藤 直道
 我孫子の社寺を訪ねる(13)補 柴崎地区(4) 柴崎東霊園

土井玲子／長谷川秀也
 歴史部会10月研究講座発表要旨

異文化体験 モンゴル草原と騎馬遊牧民3000年 萩原 正美
 日曜部会10月の活動 我孫子宿乗

船一件に関する評定所の御吟味
 状況 阪本 功
 日光街道を歩く(4)
 (越谷宿～粕壁宿) 矢野 朝水
 ◇189 (通496) 2017.11 A4 14p
 「志賀直哉と大正時代の我孫子」
 講演会とまち歩き開催 金成 典知
 “『香取の海』の古社を訪ねる”に
 参加して 大杉・神崎神社と鍋
 店酒造見学記 逆井 萬吉
 「香取の海の古社を訪ねる」に参
 加して 山本 包介
 古文書日曜部会・11月活動報告
 古文書の原風景をよむ 山崎 章藏
 「日光街道を歩く」(5)
 (粕壁宿～杉戸宿) 矢野 朝水

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報
 〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
 野村忠男方 TEL043-487-1033 年2000円
 2012年創刊

◇17 2017.9 A4 12p
 志津の地名について(6) 田中 征志
 消えた城 中村 寛之
 コラム 拡大版
 文化財の登録制度 宮武 孝吉
 本土寺と佐倉 松平喜美代
 台湾で今も愛されている郷土の偉
 人 濱野弥四郎を訪ねて 小川 眞資
 第36回全国地名研究者武蔵野大会
 伊藤 清

◆房総石造文化財研究会会報
 〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
 404 木原律子方 TEL047-473-3540
 年3000円 1980年創刊

◇135 2017.10 B5 4p
 10月のバス研修旅行『茨城県南西

部の石造物を訪ねて』
 11月のバス研修旅行『富津市北部
 地域の石造物を巡る』
 第2回石仏ゼミナール テーマ
 『馬頭観音』
 7月見学会の実施報告『松戸市小
 金周辺を歩く』/9月勉強会の
 実施報告『茨城県南西部の石造
 仏』

◆アーカイブ通信
 ネットワーク・市民アーカイブ
 〒190-0022東京都立川市錦町3-1-28-301
 (市民アーカイブ多摩:TEL042-536-5535)
 TEL042-540-1663 年6000円 2014年創刊
 www.c-archive.jp

◇10 2017.7 A4 8p
 開館3周年記念講演会報告「“情
 報公開”の現在とアーカイブ」
 三木由希子さん/質疑応答から
 「公共」を変えていく

—講演を聞いて 杉山 弘
 第3期緑蔭トーク報告 第1回
 「悩める女たちと30余年—いろ
 いろ見えてくる女のミニコミ
 『マイマイ族』 鈴木美和子 (鈴木)

2017年度定期総会終了—市民アー
 カイブの4年目 組織基盤の強
 化に取り組みます
 ミニコミ紹介
 キラキラ星通信 無実の死刑囚
 ・袴田巖さんを救う会 松田 由美

じゃんびん NPO法人歴史資
 料継承機構 西村慎太郎
 私と市民活動資料(8)
 どんな時に住民は動くのか? 宮崎 省吾

市民アーカイブ多摩の資料棚から
 (6)「合冊版」 田中ヒロ/江頭晃子

◆あしなか 山村民俗の会
 〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2
 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円
 1939年創刊 www.8ocn.ne.jp/~sanmin/

◇310 2017.10 B5 50p
 表紙解説

「出羽亀岡文殊尊」絵札 長谷川啓二
 “縄文都市”三内丸山遺跡で見た
 —「行くぜ!東北」を合い言葉に
 酒井 幸光

仕掛け弓・雑考—菅江真澄 蝦夷
 地・北東北の旅日記より 杉崎満寿雄
 「米守り」の歴史と伝播—菅江真
 澄「すすきの出湯」に導かれて

関 啓司

岩手県下閉伊郡旧川井村訪問記
 —村内・川内村明戸探訪 塩野谷明夫
 『遠野物語』三姉妹神話と伊豆権
 現—「石神問答」に見る佐々木
 喜善との往復書簡より 岡倉 捷郎
 九森町大内の山伏神楽

—宮城県最南端・修験の山里 鈴木 悦郎
 飯豊山登拝記 山崎 進
 「軽井沢」の地名由来を考える
 —会津柳津町にて 荒井 俊昭

山里だより(27) 天栄山麓 温泉
 神と薬湯伝承—南会津秘湯・見
 たり聞いたり 山立 虎魚
 旅の草ぐさ(23) 草餅の民俗—下
 野国分寺と熊谷妻沼・聖天様 井上 義雄

◆足立史談
 足立区教育委員会足立史談編集局
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇595 2017.9 A4 4p
 関東大震災と足立
 —『大震災千住町写真帳』 佐藤 貴浩

千住掃部宿の「旧書留」から(8)
 分地制限令と萱野 多田 文夫
 区内に残る「橋」地名
 榎木橋/阿弥陀橋 郷土博物館

◇596 2017.10 A4 4p
 桂信春の彫金について—東京オリ

ンピックとの関係を探る 佐藤 貴浩
 千住グラウンドと自転車レース 奥村麻由美
 資料としての前掛け 荻原ちとせ

千住掃部宿の「旧書留」から(9)

千住、御用市場となる 多田 文夫

◆足立史談会だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇354 2017.9 A4 8p
 三ヶ日町六部供養祭挙行・8月16
 日/研究発表会から
 終戦直後の日本の教育改革の原点
 米国教育使節団の報告書(17) 堀川 和夫

区民研究発表会 吉岡聡氏「文化
 財保護指導員の仕事と文化財」、
 土田秀夫氏「中学生が造った地
 口行灯」、木村繁氏「鵜外の千
 住の家と足立の医家高田先生」、
 清水繁氏「皇位継承問題と皇室
 典範」、竹内秀夫氏「奴奈川姫
 と翡翠—高志と出雲—」

9月探訪 地下鉄研究
 明和四年の年末 それから二五〇
 年 子授観音を背負った本木の
 回国修行僧 行き倒れを葬って
 きた三ヶ日町の人々

六部祭世話人様から/ことの発端
 とその後・郷土史家の探求と三
 ヶ日町の人々

◇355 2017.10 A4 8p
 足立史談会50周年は「足立史談」

600号 平成30年2月・あと4号です
 終戦直後の日本の教育改革の原点
 米国教育使節団の報告書(18) 堀川 和夫
 保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 ケヤキ・ムクノキ Etc /文化財ウィークの古木
 区民まつり 荒川河川敷
 夏の学童疎開資料展から 参加者の感想・抜粋 戦争はいらねえ
 「地域文化」No45 1998年夏 特集・二度とあってはならない時代 疎開 (財)八十二文化財団(長野市)編集発行「証言 林英夫さん・清水貞子さん(長野市)」、「証言 大野茂さん(東京都)」/
 こんな思いも好きこのんでの疎開ではないのに… 信濃屋学寮の野村(故)さんの回想の一部分
 足立の俳句先人追慕(1) 絵馬 寿さん 句集「千住」吉田政造さん
 伊興本町・東岳寺の『広重忌法要』と『一日だけの広重展』を訪ねて 伊藤 博

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
 〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
 ◇121 2017.9 A4 8p
 徳川御殿@府中 その式
 府中御殿での閣僚会談 深澤 靖幸
 最近の発掘調査 馬場大門のケヤキ並木の下を発掘しました 宮町一丁目 塚原 二郎

NOTE さよならプラネタリウム
 投影機 GL-AT 本間隆幸/上野アイ子
 たまがわ野鳥セレクション(6)
 元祖水辺のハンター サギ 中村 武史
 企画展 ちょっとむかしのくらし
 ～その2 佐藤 智敬
 開館30周年を迎えての…あれこれ
 (2) 郷土の森がホンモノの森になった! 中村 武史

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
 〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7
 https://www.okumusashi.club
 ◇417 2017.9 B5 24p
 十年前の奥武蔵と、これからの十年
 年 小泉 重光
 吉田山城の狼煙 小泉 重光
 奥武蔵・秩父の獅子舞(70)
 ー森戸、国涓地祇社の舞 関口 洋介
 「奥武蔵・秩父百山」のその後 加藤 恒彦

◆北区史を考える会会報
 〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
 ◇126 2017.8 B5 10p
 第415回 講演会 補助86号線拡幅問題に関する地域住民の取組(2) 荻原 通弘
 第412回 講演会 中世豊島氏の領地とその広がり 伊藤 一美
 第413回 月例研究会 荒川筋宮城村 下掃除代金汲取高取調書上帳について 倉木 常夫

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
 TEL03-3355-4188
 ◇207 2017.9 A4 8p

催事スケッチ 灘のけんか祭り
 華やかにして激烈なる闘争の秋祭り 兵庫県姫路市白浜町 松原八幡神社 写真・文 渡辺良正
 特集 奥三河の花祭り(1) 花祭りの構成/舞庭と舞手と村人 山崎 一司
 会員を訪ねる
 櫻山八幡宮/日吉大社
 レポート
 儀礼文化講座(平成29年度第1回)
 香道「世界の香文化」講師 蜂谷宗彦
 儀礼文化講座(平成29年度第2回)
 くらしの歴史「秩父の風土と祭り・暮らし」講師:朽原嗣雄
 儀礼文化セミナー(平成29年度第1回) 生活工芸「其中窯見学」 北山 則子

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
 〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊
 ◇99 2017.10 A4 6p
 鹿児島城大手櫓門が復元へー『鶴丸城御楼門』と呼ぶ正門復元着手
 会津柏木城の発掘調査から一戦後末に輩名氏が築く石垣づくりの城
 越前府中城の石垣・書院跡が出土
 最近の城郭ニュースから/各地の城郭研究会活動から/日本城郭史学会活動から

◆杉並郷土史会史報
 〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
 新村康敏方 1973年創刊

www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
 ◇265 2017.9 A4 8p 400円
 路面電車西武軌道線～都電杉並線
 (1) 木村 輝郎
 前田・舞田・真板 菅野 郁雄
 麹町十三丁目 福聚院にて興行の虎 新村 康敏
 思い出の愛唱歌(抜粋) 須永万里子
 私の本棚から(53)「戦火のマエストロ 近衛秀麿」菅野冬樹著
 NHK出版 新村 康敏

◆鈴木平九郎「公私日記」研究
 公私日記研究会
 〒196-0004東京都昭島市緑町1-8-19
 松田説子方 TEL042-544-6078 2017年創刊
 ◇1 2017.10 B5 92p
 「公私日記研究」再刊にあたって 松村 武夫
 近世幕末期江戸在方村の名主
 ー『鈴木平九郎 公私日記 第一巻』より 松田 説子
 幕末期江戸周辺農村の一人物像
 ー「はげ叢書」考 吉村 健司
 コラム 山中の老天狗 吉村 健司
 平九郎の上ヶ鮎世話役 日野さよ子
 「公私日記」と伊藤好一先生のかかり 森 信保
 若杉先生の思い出 河野淳一郎
 増田先生の思い出 高橋 弥生
 増田淑美先生が残してくれた言葉 松田 説子

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会
 〒111-0042東京都台東区寿2-9-9 北村国男方 TEL03-3844-2008 1987年創刊
 ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
 ◇62 2017.10 A4 16p
 隅田川との縁 濱田 逸雄

会報すみだ川 総集版Ⅲ 発行
平成29年度 隅田川市民交流実行
委員会 総会報告 篠田 裕
総会記念講演 「隅田川を最も愛
した人・山内容堂」雑感 講師
：小木曾淑子 文・小堀郁恵
隅田川大学公開講座 『隅田川大
学フィールドワーク』 藤原 隆
隅田川大学公開講座 『「イタドリ
採り」に参加して』 小堀 郁恵
隅田川大学実践俳句講座 『隅田
川大学実践講座「俳句を創ろう」
～南千住から北千住へ旧日光街
道を歩く～』 岡部 恒雄
第12回隅田川クリーン大作戦を開
催して 藤原 隆
東京四十万会 総会・懇親会／第
39回隅田川おどり納涼大会
交流コーナー 紫川を愛する会
「武良前 むらさき通信」第127
号、2017年8月号 衛藤 修一
佐藤武レポート
カラスが魚を捕って食べる 佐藤 武
「総集版Ⅲ」発行に際して
隅田川と吉田尚代さん 小堀 郁恵

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
seikouminzoku.sakura.ne.jp
◇240 2017.9 B5p 33円
祭礼行事と地域社会—岩手県一関
市花泉町金沢八幡神社を中心に
加藤 妃奈
茨城県行方市化蘇沼稻荷神社の例
大祭—巫女舞奉納と奉納相撲 近江 礼子
来宮神社の大楠 大島 建彦
甲斐の「東方朔」—宝蔵院本『陰

陽雑書抜書』（仮題）から 小池 淳一

◆全日本郷土芸能協会会報
〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
◇89 2017.10 A4 24p
御嶽神楽 大分県豊後大野市
国指定重要無形民俗文化財 豊田 徹士
茨城県「真家のみたま踊」、石川
県「白峰のかんこ踊」調査報告
書作成業務／靖國神社の夜間参
拝・芸能奉納「みらいとてらす」
報告
発足50年
北の大地に蝦夷太鼓創生の時を
刻んで 北海道くしろ蝦夷太
鼓保存会 石田博司／山口良雄
草地踊り保存会結成50周年を迎
えて 草地踊り保存会 大鍛治昭一
「獅子よ集まれ！ 東北宮城へ」
地域×芸能ニューウェーブ
三陸国際芸術祭2017報告
第2回 未来に伝える古典の面白
さ 新内浄瑠璃と八王子車人形
伊勢大神楽と現代日本を歩く(2)
風の暮らし、土の暮らし 神野 知恵
紙上講座 モンゴルの原風景に出
会う モンゴルで見た中国、韓
国、日本人の国民性の違い 中坪 功雄
地芝居見聞(26) 「秋川歌舞伎あ
きる野座二宮神社生姜祭公演」、
菅生歌舞伎菅生一座 正勝神社
祭礼奉納公演」 北河 直子
地芝居あれこれ(27)
「柵津の舞台に吹き始めた風」 蒲池 卓巳
会員紹介
雄勝町伊達の黒船太鼓保存会 神山 正行

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇308 2017.9 A4 2p 100円
ヴァイオリン演歌 歴史と変遷／
演歌とは何か／ダイナマイト節
／川上音二郎(1864～1911)と貞
奴(1871～1946)／書生節／スカ
ラソング(学生節)／添田唾蟬
坊 添田さつき(知道)／東京節
◇309 2017.10 A4 2p 100円
恐るべし颯風情報 深川江戸資料
館主催(第九回)「江戸の物売り
と大道芸」
ヴァイオリン演歌 神長暁月(18
88～1976)／松井須磨子(1886～
1919)、島村抱月(1871～1918)、
中山晋平(1887～1952) 楽四季一生
◇310 2017.11 A4 2p 100円
山東京伝作『松梅竹取談』
ヴァイオリン演歌 尾崎紅葉と金
色夜叉 尾崎紅葉(1867～1903)
／鳥取春陽(1900～1932)／松崎
ただし(作詞家) 楽四季一生

◆多摩地域史研究会会報
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1-
103 梶原方 1991年創刊
tamaten.web.fc2.com
◇127 2017.9 B5 4p
第96回例会報告
第96回例会参加記 鈴木 直樹
田無村分水は元禄九年にひかれた
のか 近辻 喜一

◆調布の文化財 調布市郷土博物館
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2

TEL042-481-7656 1986年創刊
◇55 2017.10 A4 8p
深大寺白鳳仏の国宝指定と奉迎式
赤城 高志
新指定の文化財 深大寺・国宝
「銅造釈迦如来倚像」 赤城 高志

◆伝え 日本口承文芸学会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學文学部 飯倉義之研究室
FAX03-5466-0368 年4000円 1987年創刊
ko-sho.org
◇61 2017.9 B5 14p
問うに落ちず… 高木 史人
第72回日本口承文芸学会研究例会
／第24回奄美シマウタ研究会
報告「都市語りの可能性(2) シ
マガチの響きにふれてみません
か～東京での奄美シマウタ伝承」
真下 厚

〈第41回日本口承文芸学会大会〉
テーマ「アメリカ大陸の口承文芸」
公開講演資料
重信幸彦／立石展大／鶴野祐介
研究発表報告
後藤若菜氏「宮沢賢治「鹿踊り
のはじまり」創作の発想はど
こからきたのか」、清野知子
氏「百合若伝承」 佐藤 優
内藤久義氏「説経と谷ノ者」、
阿部幹男氏「八戸城下奥浄瑠
璃」 廣田 収
山口くるみ氏「千葉県鯉の浦に
おけるタイの食物禁忌」、齋
藤みほ氏「現代における昔語
り」 達 志保
北原次郎太氏「アイヌ民族の動
物変身譚について」、狩俣恵

一氏「沖縄の「伝統的な言語文化」と「シマ言葉」の継承について」 安田 千夏
シンポジウム報告「口承文芸デジタルアーカイブの課題と展望」熊野谷葉子
日本口承文芸学会編『こえとことばの現在—口承文芸の歩みと展望』刊行しました
各地の語り・語り手・語りの場の紹介(5) 岡山県語りのネットワーク 立石 憲利

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548
/〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円
tias3.web.fc2.com

◇126 2017.9 A4 6p

報告 見学会「大型遺産としての調節池の役割を知る」

多田統一/写真・奥原一三

第4回理事会の議事概要/第5回理事会の議事概要

報告 研究会「養蚕・製糸の産業遺産の保存と活用」—2/2

平井東幸/写真・奥原一三

会員著書の紹介 『朝鮮民族の美

100点』金哲央著 多田 統一

文献紹介 『日本の橋 その物語

・意匠・技術 シリーズ・ニッ

ボン再発見5』五十嵐畑著 多田 統一

産業遺産を訪ねて(11) 高知の

「藤村製糸記念館」—100年の歴史の企業資料館

平井 東幸

新刊紹介 『ミュージアムとまち

づくり』編集発行・はたや記念

館ゆめおーれ勝山 平井 東幸

茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(7)
「常陸国総社宮の煉瓦造高燈籠」
(2) 文・写真 八木司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806

鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

1956年創刊

◇366 2017.10 A4 4p

豊島氏関係史料を読む(21) 丁丑

(天正五年)七月十三日付け北条

家印判状を読む 伊藤 一美

昭和史雑感 昭和天皇と将軍達

(27) 三、東条英機 鎌田 茂男

石神井川の歴史(2)

—その源流から河口まで 葛城 明彦

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4

飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇119 2017.9 B5 4p

第120回例会 石神井川周辺地域

の歴史—その源流から河口まで

葛城 明彦

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1

TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇101 2017.9 A4 4p

東京文化財ウィーク2017 企画事業

尾崎遺跡の展示解説会

公開しています 国指定・登録、

都指定の文化財 練馬白山神社

の大ケヤキ/石神井城跡/三宝

寺池沼沢植物群落/牧野記念庭

園(牧野富太郎宅跡)/小野蘭山

墓及び墓誌/池永道雲墓/東高野山奥之院/丸山東遺跡方形周溝墓出土品

東京文化財ウィーク2015 企画事業

石神井公園ふるさと文化館

・分室主催 特別展「描かれた

練馬—変わる風景・変わらない

風景」、特別展関連講演会「浮世

絵ルネサンス=新版画」講師：渡邊

章一郎氏/分室特別展

「デビュー30周年記念 いとう

ひろし展—みつげよう、わくわ

くのタネ」/分室企画展「作家

たちの手紙」/石神井城跡発掘

パネル展/特別公開「小野蘭山

墓誌」/展示会「古民家今昔も

のがたり」

練馬区指定文化財 古文書紹介

井口家文書 「関のぼろ市」に

関わる文書

練馬区独立70周年記念協賛事業

ねりま郷土芸能フェスティバル

/第29回練馬区伝統工芸展

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011東京都文京区千石2-42-7 田中

寛方 TEL03-3945-2497 年3500円

1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp

◇44 2017.9 B5 80p 2000円

《満洲特集》

口絵 満洲国の郵便と電報

満洲郵政略史

—郵便事業を中心として 星名 定雄

満洲国の切手と郵便 飯塚 博正

南満洲鉄道の欧文鉄道郵便印を

使用した「局」は何か—突然現れ

て突然消えた翻訳語を追いか

て(1) 片山七三雄

「フランス横浜郵便局」研究史(6) 松本 純一

資料紹介 旧刊紹介(18)

『郵便百科年表』 鈴木 克彦

近刊紹介 Vicent Schouberechts

THE POST BOOK 500 years

of history in Europe/松本純一

編著 デグロン君カバー/郵政

歴史文化研究会編 郵政博物館

研究紀要 平成28年度第8号/

三和三級 戦場からの手紙/繪

鳩昌之 郵便史外伝 星名 定雄

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0013神奈川県小田原市南町4-1-24

松島俊樹方 年3000円 1961年創刊

odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇251 2017.10 A4 32p

多古の牛乳さん 話し手・中村泰良

講演録 後北条氏以前の小田原

(下) 政治、社会状況からみる

鎌倉・室町時代の小田原地域 野村 朋弘

姿を見せた一乗谷朝倉氏遺構

—真夏の福井紀行 田中 豊

富士フィルム草創期(2) 春木栄

とキネマフィルム国産化 荒河 純

小田原の郷土史再発見 浅野内匠

頭が証す家康妹天桂院の死去 石井 啓文

二宮尊徳と『論語』(3) 岩越 豊雄

歴史講演会 聴講記「北条早雲と

明応津波」講師・金子浩之氏 (JA)

片岡日記 昭和編(11)

昭和3年4月・昭和3年5月 片岡永左衛門

駿東地方の大森氏関係城館めぐり

山口 隆夫

多古の悪ガキの思い出(2) 中村 泰良

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1

TEL045-364-4456 1994年創刊
www.pref.kanagawa.jp/cnt/fl040/
◇37 2017.10 A4 4p
平成29年度夏休み小・中学生親子
講座
生涯学習講座「神奈川の地名」
『神奈川県区市町村変遷総覧』
から 齊藤 達也
古文書講座資料から 上田 良知
新規公開資料「在外私有財産実
態調査票」と記念展示・講演会

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100
1959年創刊
◇123 2017.9 A5 103p 1500円
鎌倉の至宝(23) 重要文化財 紙
本淡彩 円覚寺境内絵図 一幅
浪川 幹夫
鎌倉大仏存疑(下)―『吾妻鏡』記
載の大仏関係六条・私注 鈴木 良昭
各地の天神別当安楽寺について 篠原 幸久
新居(荒居)閻魔堂の位置について
島本 千也
遊酔庵文庫蔵『松田丹後守長秀記』
遠藤 明子
『亀谷山記録』(16) 鎌倉古文書研究会
神奈川の窓(40)
―「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter
〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
NPOセンター鎌倉気付 メールボックス
26 2013年創刊
◇47 2017.9 A4 2p
10歳で教育勅語暗誦を強制された
少女は 郡司 春乃

文書館がほし〜い 第10回
アーカイブ制度と情報公開制度

◆寒川文書館だより
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-
1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp

◇22 2017.10 A4 8p
資料紹介 臨時国勢調査申告書
「昭和22年臨時国勢調査」(寒川
町公文書) 平尾 直樹
茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業
昭和22年の茅ヶ崎と寒川 寒川
文書館第25回企画展「1947年
新生寒川町はじまり」、講演会
「昭和22年の茅ヶ崎と寒川」/特
別展「ポスターにみる井上有一」
寒川文書館第24回企画展「地図の
愉しみー村絵図から電子地図ま
でー」

◆日本地名研究所通信
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-
1106 1993年創刊 chimei.people.co.jp

◇88 2017.7 B5 8p
武蔵野の「ハケ」の世界と神々 関 和彦
新しい方向性が見えた大会 田中 弘倫
第一日目 武蔵野大会
第一日目に参加して 説田 武紀
第二日目 武蔵野地名探訪
A「湧水・川と地名コース」を
歩いて 飯坂 慶一
B「街道・上水・文学と地名コ
ース」を歩いて 大窪 文代
C「信仰と祭と地名コース」を
歩いて 相場 紀子

◆扣之帳 扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
◇57 2017.9 A5 128p 500円
二人のフォービスト
里見勝蔵と橋本樸々 岸 達志
橋本樸々『讃佛画集』(3) 橋本 龍
酒匂だより「焼きおにぎり」 町田紀美子
豊臣秀吉と南明院 今川 徳子
小田原領における離村立て直しの
課題 尾上 武
十三湖への道 下田 勝也
国府津今昔(明治から昭和まで)(5)
国府津五丁目の大隈別荘 武井 秀夫
邪馬台国を訪ねて(4) 卑弥呼の
国を比定してその時代を知る 山室 智央
川崎長太郎日誌(2)
抹香町の光と影 芳賀喜久雄
関東十八檀林記(3)
「山の芋」の育て方 青木 良一
真言の人・空海(2) 茂木 光春

◆民具マンスリー
神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇595 (50-7) 2017.10 A5 24p 350円
京屋銘の踏車について 溝辺 悠介
資料キャプションに込めたメッセ
ージー富士山かぐや姫ミュージ
アムの試み 井上 卓哉
鳥取県智頭町の黄連採集加工用具
について(2) 樫村 賢二
◇596 (50-8) 2017.11 A5 24p 350円
箒と梭を持った女―「民具の終焉
の作法」追い書き 小島 瓊禮

色付けと田楽―加賀能登の中食文
化を訪ねて(後) 大門 哲
民具短信 藁打ち機(藁たたき) 池田 哲夫

◆悠久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
◇150 2017.9 A5 164p 680円
《特集 吾妻鏡》
悠久百五十号にあたって 吉田 茂穂
神道の国際理解を求めて
吉田茂穂宮司に聞く
インタビュー・高清水有子
『吾妻鏡』の成立とその構成およ
び伝来をめぐって 井上 聡
『吾妻鏡』と御成敗式目 永井 晋
源頼朝の神宮崇敬とその祠官達 多田 實道
『吾妻鏡』と徳川家康 小和田哲男
『吾妻鏡』と『愚管抄』 尾崎 勇
『吾妻鏡』に描かれた鶴岡八幡宮
寺 八幡 義信
『吾妻鏡』の文体 変体漢文とい
う記述方法について 山本 真吾
『悠久』既刊号紹介(第100号〜第
150号)

八幡宮紹介
香椎宮(福岡市東区香椎)

中 部

◆頸城文化 上越郷土研究会
〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ
前盛明方 TEL025-543-4354 1952年創刊
◇65 2017.9 A5 198p
上越市大潟区下小舟津浜の製塩遺
跡について―波浪浸食により出
現し消えた遺跡の画像記録 関 雅之
ヒスイ文化・再考 土田 孝雄

倭人伝の検証(3)完

倭国の地理像	鰐淵 好輝
なぜ親鸞は多くの書き物を残したか	太田 空賢
親鸞・恵信尼と「まきの村」	星野 欣也
南北朝の動乱と越後	花ヶ前盛明
古老長尾家と上条上杉家の系譜に 関する幾つかの仮説の提案	岡田 清
上杉家の遺事	片岡 秀樹
越後幕領米の江戸への回送 一元禄期から正徳期の様子	滝沢 聰
深まる文化遺産への史観 一「書」の発信力と視座	丸山 正男
五智国分寺の良弁石像を検証	吉川 繁
石仏の修験彫刻調査「未知の石彫 刻を活用した、調査法の考案」 例(2) 上越市五智・越後国分寺 の良弁僧正石像一お宝の発掘	吉川 繁
近世名立宿場事情	青山 増雄
上越歴史散歩(2) 新潟日報カルチャースクール上越教室 ヤブツバキの自然林 柞淵トヨ子／細川康子／加藤浩二 井田年之助の生家跡	加藤 浩二
笠松宗謙住居跡	山田 宏
室孝次郎記念碑	武田 一郎
橋源氏車紋松竹梅蒔絵乗物	武田 一郎
国分寺	花ヶ前盛明
光源寺	花ヶ前盛明
中村十作一神として祀られた男	山田 宏
明静院	花ヶ前盛明
国府別院	花ヶ前盛明
高田姫の墓	加藤 浩二
坂口記念館	加藤 浩二
前島記念館	武田 一郎
参考文献	

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇107 2017.10 B5 12p
史料紹介 蕨都坊と榎木戸田郡の
新田開発 近 武郎
古墳時代の須恵器跡について(2) 細井 佳浩
平成29年春の視察旅行 秋葉区新
津地域の歴史を訪ねて 山賀 誠

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇158 2017.10 A4 20p
良寛如愚 津田青楓(明治13年～
昭和53年)
リレーエッセイ 良寛つれづれ(7)
慈愛の心を広める努力 森石 武士
良寛遺墨鑑賞(6)
「仙桂和尚真道者」 小島 正芳
折々の良寛(47) 良寛書「法華讃」
の大型展示について 長谷川義明
良寛ゆかりの地・長岡の集う
第40回全国良寛会長岡大会に
参加して
良寛ばやしで盛り上げ 中藤 秀三
良寛さんの最期の心境 小川 茂正
「平常心是道」 西部 英信
心に染みた震災からの復興 会田 捷夫
今、思う 良寛は何をめざした
か 土佐 文男
戻ってきたブローチ「良寛さま
ありがとう」
設立四十周年記念 全国良寛会長
岡大会を終えて 和顔愛語のス
タートを 春日 浩三
「慈愛の人 良寛一その生涯と書

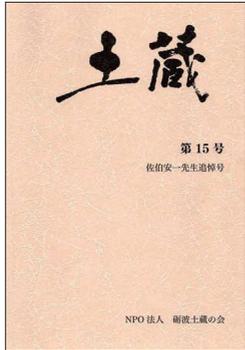
展」 岡山県立美術館で十一月
まで開催 清水 容子
良寛を敬慕した、悲劇の天才画家
・深林人(中) 柳本 雄司
備中良寛さん こころの寺めぐり
〔第三番〕舟木山洞松寺 鈴木 聖道
西行と良寛一その世俗との差(2) 山上 健
江戸時代の良寛の本
一良寛生存中の三冊の本 岡田 守
良寛 思いやりの歌 素描 吉田 福恵
相馬御風の良寛(7)
一人をへだてるこころ 金子善八郎
讃良寛偈 良寛を仏・菩薩に見立
てて讃える歌 小林 鉄夫
トピックス
今年も盛会だった良寛茶会(新
発田市) 星野 淳雄
「良寛と越後の文化」作品展
一日だけの作品展示も(新潟
市) 吉井 清一
北方文化博物館の新理事を表敬
訪問 柳本 雄司
新刊紹介 『蓮の露』良寛の生涯
と芸術 復刻版(ヤコブ・フィ
ッシャー著)、『詩集 待ちにし
人は来たりけり』(黒羽由紀子
著) 坂上 義興
良寛を訪ねて(7) 修行の地
備中玉島円通寺(下) 吉井 清一

◆土蔵 砺波土蔵の会
〒939-1315富山県砺波市太田1770 尾田武
雄方 TEL0763-32-2772 1988年創刊

◇15 2017.9 B5 89p
加賀藩砺波郡の姿一元和から寛永
初期の頃 佐伯安一氏に学ぶ(2)
間馬 秀夫
砺波市指定文化財一松川除堤防と

御川除地蔵 佐伯安一氏に学ぶ
(3) 間馬 秀夫
常国遺跡と石栗村比定地 西井 龍儀
やせ仏 五劫思惟の法蔵菩薩 尾田 武雄
『土蔵』論文・エッセー目録 大矢 清美
あとがき 尾田 武雄
《佐伯安一先生追悼号》
まえがき 白江 秋広
佐伯安一先生の二上山築山行事論
由谷 裕哉
日本の方言調査と佐伯安一先生 中井 精一
佐伯先生のこと 杉月 貴英
佐伯安一先生のご逝去を悼んで一
佐伯先生からの(公私にわたる)
生前、最後の贈物 中葉 博文
五箇山の四季とくらし 竹部 俊恵
悉くみな調べぬく一佐伯安一先生
追悼 青原さとし
佐伯安一先生を讃える 堀田 多聞
厚みのあるあつたかさ 柏樹 直樹
佐伯先生の思い出 平井 一雄
佐伯先生へ高岡からの感謝 新井 雅夫
古い言い伝え 不吹堂と風穴 前川 正夫
佐伯さんと、断片的な思い出 樽谷 雅好
天国の佐伯先生へ 安カ川恵子
佐伯先生の思い出 武部 孝則
佐伯先生との出会い 藤井 治紀
佐伯安一先生の思い出 高木美奈子
佐伯安一先生を偲んで 大楠 匡子
佐伯安一氏に感謝して 山田 妙子
佐伯安一先生の思い出 須摩 孝一
佐伯先生へ 松井 克栄
佐伯安一氏との出逢い 池田 栄一
佐伯先生を偲ぶ 今井 春継
佐伯先生の御恩 加藤 享子
とても追いつけません 木本 尚志
佐伯安一氏の特別講義 野原 大輔
佐伯先生の思い出 黒田 和也

「カステラ」の名称について 大澤 晴美
 佐伯さんとともに 尾田 武雄
 砺波郡の一向一揆
 一基層農民のその後の行方 白江 秋広
 川合家文書「往昔御紙面等之写」
 の概要 佐伯安一氏に学ぶ(1) 間馬 秀夫



*2016年に逝去された元富山民俗の会代表で砺波郷土資料館長佐伯安一氏を追悼する特集号。砺波土蔵の会は昭和61年に、「地域文化向上と生涯学習機関との連携を行う。また日本農業の原風景である砺波散居村の景観の維持と活用を行い、都市との交流及びグリーンツーリズム(散居村で楽しみ、ゆとりある滞在型余暇活動)推進に関する事業を行い、活力ある砺波散居村の創造と人間性豊かな地域社会の形成に寄与することを目的」として発足した特定非営利活動法人である。佐伯氏は第二代砺波郷土資料館長で、土蔵の会は、同館の勝手に応援団から出発した、いわば同氏のファンクラブであり、佐伯学校であったという。同氏を慕う人々の思いや、温かい交流の様子がどの文章にも溢れている。同氏は長年にわたり富山県における農村集落の民俗研究に取り組み、平成6年に富山県功労賞、平成25年には砺波平野の散居村に関する持続的研究とその継承活動による地域の建築文化への貢献で日本建築学会文化賞を受賞している。

その業績は、『常民のまなざし 佐伯安一先生米寿記念文集』(とやま民俗の会、平成28年)、『佐伯安一著作目録』第1~3集(砺波土蔵の会ほか、平成6~28年)としてまとめられている。ご冥福をお祈りしたい。

◆とやま民俗 富山民俗の会
 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円 1974年創刊
 ◇88 2017.9 A5 22p
 伊藤曙覧先生を偲ぶ 太田 久夫
 富山県魚津市古鹿熊民俗抄
 一その古層性を中心に 森 俊
 南砺市福光地方の「ちょんがれ」
 について 加藤 享子

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 TEL076-262-3236 1986年創刊
 ishikawa-rekihaku.jp
 ◇123 2017.9 A4 6p
 秋季特別展「禅の心とかたち一總持寺の至宝一」
 学芸員コラム 謎の神饌「おけら餅」を再現せよ! 大井 理恵
 教育プログラム 博物館のお仕事
 とは?~れきはく職場体験 野村 将之

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0803長野県飯田市鼎下山538
 TEL0265-53-4670
 www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html
 ◇90 2017.10 A4 4p
 第15回飯田市地域史研究集會を開催しました 特集 地域の歴史を描く
 飯田歴史賞2017 受賞者コメント
 著作賞 相沢莉依著『幸一幸運

幸福に恵まれた平凡な人生』
 (私家版) 相沢 莉依
 奨励賞 瀬戸口龍一著「今村力三郎および蜂谷家と信濃国下伊那郡上飯田村について」『専修大学史紀要』第9号および『専修大学史資料集』第8巻「「反骨」の弁護士 今村力三郎」 瀬戸口龍一
 奨励賞 上郷公民館ふるさと学習教材編集委員会編『久遠の文化うち立てん』 渡邊 義昭
 新刊案内
 飯田市歴史研究所年報 (15)
 リレーミニエッセイ(10)
 農村調査をめぐって 坂口 正彦
 上郷原ノ城にあった陸軍の飯田対空監視哨 原 英章

◆伊那 伊那史学会
 〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
 TEL0265-22-6017 年5500円
 ◇1072 (65-9) 2017.9 A5 50p 550円
 口絵 松岡城跡(高森町)の今昔 松上 清志
 〈伊那谷研究団体協議会 第19回シンポジウム研究発表 伊那谷・次世代に伝えたいもの、残したいもの一自然・文化・風土〉
 雑魚とり・虫とり・秘密基地、子ども達に自然体験の場を
 伊那谷自然友の会 中村貴俊
 土地に刻まれた先人の生き様を讀み取る 下伊那考古学会 小林正春
 自らの足で自らの地に立つ一地名への眼差し 伊那谷地名研究会 原 董
 太平洋戦争と松根油のこと 寺岡 義治
 下伊那日録(2012年6~9月)
 ◇1073 (65-10) 2017.10 A5 52p 550円
 口絵 鳥の世界も変わる 米山 富和

鳥類標識調査から見た伊那谷を渡る鳥 米山 富和
 スズメは減っているのか 桐生 尊義
 氷河がつくった中央アルプス千畳敷~しらび平の地形 下平 眞樹
 高山のダイナミズム 大気・植生・地形からなる高山景観と10年間の変化 村松 武
 学術的に楽しく学ぶ活動事例から一「ひらや自然ガイド養成講座」の試み 米山 照実

◆伊那路 上伊那郷土研究会
 〒399-4501長野県伊那市西箕輪3180
 山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円
 ◇728 (61-9) 2017.9 A5 40p 500円
 《終戦特集(2)》
 戦没同窓生の「鎮魂碑」建立と憲法学者芦部信喜氏の講演一太平洋戦争と旧制伊那中学校の歴史を踏まえて 久保田 諄
 「県立伊那高等女学校と名古屋空襲」をテーマに公演一2016年福岡県筑紫地区の第30回記念「平和のつどい」で 山口 通之
 学童も駆り出された忠魂碑の移転と再建 北原 昌弘
 伊那市が取り組む古い地名調査(8) 竹松 亨
 飯島町にも来た大相撲 桃澤 匡行
 伊那谷のクイナ類
 一民俗の窓を通して(29) 吉田 保晴
 ふるさとの子育て(30) 自ら学ぶ 大槻 武治
 文化短信 「少年の塔」一歴史の事実に学び、平和を祈念する 矢澤 静二
 図説・上伊那の民俗(6) 大御食神社「獅子切り」(駒ヶ根市赤穂) 三石 稔

◇729 (61-10) 2017.10 A5 40p 500円
《石工特集》
石工 藤森吉弥の作品を訪ねて
一 鷲窟山観音院(曹洞宗)へ 堀内 敏文
石匠 守屋貞七の全石造物を探る
一 石工歴60年間に333体彫像か 田中 清文
節分の今「かにかや」を中心に 三石 稔
古文書の窓(130) 矢彦神社、正
保国絵図の訂正を訴える 三浦 孝美
図説・上伊那の民俗(7) 本郷神社
「大三国」(飯島町本郷) 三石 稔
書籍紹介 辰野町文化財保護審議
会編集 町教育委員会発行『辰
野町の石造文化財』

◆伊那民俗

柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkhome/blogspot.jp
◇110 2017.9 B5 12p
表紙 根之神社(下條村陽阜菅野)
の風祭り／寺尾山神社(下條村
陽阜吉岡)の風祭り 今居 啓
『お船渡り』のある田楽系芸能の
比較—どうじゃこうと雪祭り、
西浦田楽 近藤 大和
地域文化の創造のために—『地域
に根ざす民衆文化の創造—「常
民大学」の総合的研究』から読
み取るもの 高橋 寛治
柳田国男「武蔵野の昔」によせて
山口 茂記
紹介 『ちょっと昔の今に続く中
川村の年中行事』 編集発行：
中川村年中行事編集会 松上 清志

◆信濃 信濃史学会
〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35
年10200円 TEL0263-58-1213
www.shinano-shigakukai.jp
◇812 (69-9) 2017.9 A5 80p 1150円
八ヶ岳西山麓の縄文遺跡群と集落
関係 鶴飼 幸雄
近世期における武家の放鷹文化の
一斑—松本藩の鷹匠・外山氏を
事例として 二本松泰子
松本近郊の在郷町成相新田の成立
と展開について(下)—新田町村
の芝切藤森家同族団の動向を基
軸に 高原 正文
真田信繁判物とされる史料の再検
討—西上州安中氏惣領家滅亡間
際の発給文書では 寺島 隆史
◇813 (69-10) 2017.10 A5 80p 1150円
《特集 追悼 武田安弘元委員長》
信濃史学会委員長を務められて 小松 芳郎
信濃史学会での思い出 山浦 寿
武田安弘さんを偲ぶ 長岡 壽
武田先生の目指しておられたこと
青木 教司
武田安弘氏の長野県近代製糸業史
研究の成果をどう引きつぐか 上條 宏之
『長野県現代史』刊行を主導され
た武田安弘先生 小平 千文
武田安弘さんをしのんで ライフ
ワーク 製糸業発展過程の研究
—史料による厳密な論証 小口 圭一
追悼 武田安弘先生 郷土史『湖
南村誌』監修への御礼 小池 成和
武田安弘先生を偲ぶ 高林 千幸
父と信濃史学会のこと 武田 麻里
武田安弘氏略歴
武田安弘氏著作・論文等目録
富岡式蒸気器械製糸技術を地域移

転した長野県西條村製糸場(上)
—指導的役割を果たした横田数
馬・大里忠一郎・海沼房太郎を
中心に 上條 宏之
旧陋墨守 桐原 健

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇261 2017.9 B5 18p
ダム移転集落に嫁ぐ—第206回例
会の問題提起にかえて 土田 拓
安曇ダムについて—松本市奈川及
び安曇地区の概要 小原 稔
長野県民俗の会第206回例会報告
—奈川入山集落を歩く 渡辺 宏
「長野県民俗の会」の先達を訪ねる
(2)—倉石忠彦先生(中) 三石 稔

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇97 2017.9 A4 8p
特別展「レオナルド×ミケランジ
ェロ展」
加藤栄三・東一記念美術館第1展
示室「加藤栄三・東一 イタリア
アの情景」
加藤栄三・東一記念美術館第2展
示室「信長公岐阜入城・岐阜命
名450年に寄せて 伊藤彰耳と
は・とびけの仲間たち」
博物館ニュース 小和田哲男名誉
館長図書コーナーを開設しまし
た
岐阜市歴史博物館蔵「賤ヶ岳合戦
図屏風」雑考(後) 中島 雄彦

館蔵資料紹介 朱地桐紋付裾模様
小振袖 丈155cm・衿60cm・袖
丈70cm 昭和初期

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館
内 TEL058-275-5111 年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇128 2017.9 B5 28p
ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・
屋台行事」大垣祭の軌行事 児玉 剛
平成29年度総会講演要旨 木曾三
川治水史上の奇跡—宝暦治水の
実像 丸山幸太郎
明治初期における岐阜県教育会図
書館の役割と利用—学生の利用
を中心に 黒田 隆志
明治から大正における岐阜県加茂
地域の製氷業 若井 水絵
書窓の風
地域の歴史研究への取り組み 児玉 剛
「続 今を築いた中濃の人びと」
発行される 馬淵 旻修
誰が松倉城を築城したか？
—飛騨地域の熱い論争 茂住 修史
郷土関係新刊書目録(113)
郷土関係逐次刊行物文献目録(112)

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会
〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大
学人文社会学部法学科 橋本誠一研究室
TEL054-238-4544 年4000円 1979年創刊

◇42 2017.10 B5 1800円
〈特集I 創立40周年記念〉
法制史研究と地域史—静岡県近代
史研究会創立40周年に寄せて 橋本 誠一
静岡県近代史研究会の会員として 小池 善之

事務局長に選任されて 村瀬 隆彦
静岡県近代史研究会創立40周年を
迎えて、会報担当として 川上 努
研究会の財政ショックとその乗り
切り、リポジトリについて

清水実／村瀬隆彦
会誌担当として思い出すこと 高木 敬雄
〈特集Ⅱ 原口清先生追悼号〉

原口先生とわたし 田村 貞雄
資料1 原口清「この一ヶ月」(民
主主義科学者会議歴史部会『歴
史評論』1960年9月号)

資料2 原口清『日本近代国家の
形成』(日本歴史叢書 岩波書
店 1968年刊) 田村 貞雄

総会記念講演録 近代の克服と近
代の徹底のはざままで—トーマ
ス・マンとルカーチ、亀井勝一

郎と羽仁五郎のことなど 鷲山 恭彦
中村秋香日記にみる静岡藩士の職
務と生活 樋口 雄彦

伊豆国の神奈川県への管轄替運動
とその周辺—南伊豆を中心とし
て 高橋 廣明

静岡県浜松市中区利町の誠忠碑に
ついて 植松 勇介

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇469 2017.10 B5 4p 100円
総会記念講演レジュメ 原口史学
に学ぶ—『原口清著作集』(全5
巻)の編集から 勝田 政治

会誌第42号の目次を紹介します。
共同研究「鷲山家文書調査」中間
報告 橋本 誠一

◇470 2017.11 B5 4p 100円
11月例会レジュメ 静岡発の育児
休業法と専業主婦化—1960-70
年代の女性教員の運動を事例と
して 跡部 千恵

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒421-3103静岡市清水区由比750-306
北村啓気付 年4000円 2011年創刊

◇7 2017.9 A5 70p
松平信康事件について 本多 隆成
遠江堀越氏の基礎的研究 清水 敏之
史料紹介

中世井伊氏関連文書の紹介(1) 大石 泰史
第36回総会記念講演

三河から見た今川氏 山田 邦明
総会記録・例会記録

◆静岡県地域史研究会報

〒421-3103静岡市清水区由比750-306
北村啓気付 年4000円 2011年創刊

◇214 2017.9 B5 4p
5月例会報告要旨
寛永期以降の富士郡北山村の支
配者—旗本領主松平家を中心
に 喜多 恭子

戦国期富士上方の支配状況—大
宮司富士氏と井出氏を中心に
松本 将太

6月例会報告要旨
引間飯尾氏の出自についての—
考察 小林輝久彦

近世駿河国富士郡における幕領
支配の変遷—富士郡人穴村を
事例に 増田亜矢乃

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-6-101

web.thn.jp/s-folklore/
◇165 2017.10 A4 6p
健脚を祈る「足絵馬」 渡辺 好洋
小字地名に探る土地の記憶—大内
には、中世の地形が生きている

大村 和男
民俗語彙・方言短信
エツタイ、エツたい 外立ますみ

◆古橋懐古館だより

〒441-2513愛知県豊田市稲武町タヒラ8
TEL0565-82-2100 2017年創刊 kaikokan.org

◇2 2017.10 A4 8p
収蔵庫の建設にあたり 古橋 真人
トクホンは膏葉ではなく、念仏行
者である—稲武の徳本六字名号

塔から 西海 賢二
古橋家に残る婚礼の記録 古橋家
の古文書／婚礼に関する古文書

／「献立帳」・「座敷割控帳」・「祝
儀受納帳」 藤井 智鶴

資料紹介(2)
久坂玄瑞—今様うた(恋歌) 古橋 正光
コラム 暉児?暉児?暉児?—六
代テルノリの実名について 内藤 路子

文化財紹介 桶茶道具一式 張 艶

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円

◇591 (57-5) 2017.9 B5 8p 600円
表紙写真のことは ウンジャミー
二日目のサーサイ 沖縄県大宜

味村田港 旧暦の盆後の初亥の
翌日 坂本 要
東京・下川乗獅子舞 石川 博司

史前岩繪にみる天人思想の變遷—
北海道フゴッペ洞窟の綫刻岩繪

の解讀上の問題(6) 水原 渭江
平成29年度 第59回 ブロック別
民俗芸能大会
資料館情報 大阪音楽大学音楽メ
ディアセンター楽器資料館

◆伊勢郷土史草 伊勢郷土会
〒516-1103三重県伊勢市津村町786-7
1973年創刊

◇51 2017.9 B5 108p 1500円
和田千吉氏旧蔵小町塚出土瓦経の
研究 津田 守一

伊勢市域の仏像再見
—神仏習合の一様相 藤田 直信
『伊勢新名所絵歌合』歌題考証

—神都の古地名をめぐって 石井 昭郎
随想 熊野三山 篠原 龍

伊勢郷土会第497回例会
多気町史跡めぐり 中村 保

伊勢郷土会第504回例会
京都洛西三尾方面見学会 阿形智恵子
伊勢郷土会だより 光明寺とその
周辺の清掃奉仕と学習会 事務局

◆織豊期研究 織豊期研究会
〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577
三重大学教育学部 日本史研究室内
TEL059-231-9218 年1500円 1999年創刊

◇19 2017.10 B5 121p 1500円
政治秩序にみる三好政権から織田
政権への展開 天野 忠幸

戦国期の織田弾正忠家と和歌・蹴
鞠・連歌 尾下 成敏
「芸土入魂」考 藤田 達生

室町幕府・織田政権における細川
藤孝の地位—書札礼を中心に 小久保嘉紀

史料紹介 美濃加茂市民ミュージ
アム所蔵(天正十年)六月十二日

付明智光秀書状 藤田 達生
 書評
 高岡徹著『戦国期越中の攻防』萩原 大輔
 小川雄著『徳川権力と海上軍事』
 長屋 隆幸
 中野等著『石田三成伝』 水野 伍貴
 活動報告
 織豊期研究会事務局(文責・藤原達生)

近畿

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団
 〒520-0806大津市打出浜15-1
 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊
 www.biwako-arts.or.jp
 ◇161 (41-4) 2017.10 B5 96p 584円
 《特集 近江戦国の城郭》
 その魅力と楽しみ方 中井 均
 山城を楽しむ
 鎌刃城 鎌刃城と私 泉 峰一
 観音寺城 「観音寺城跡の整備
 プロジェクト」汗だく奮闘記
 木野 和也
 三雲城 吉永地区と三雲城址
 園部 俊治
 清水山城 戦国山城を楽しみな
 がら守り伝える 横井川博之
 さまざまな城
 男鬼入谷城 下高 大輔
 坂本城 山本 正史
 玄蕃尾城 平川 幹夫
 難攻不落の城
 佐柿国吉城 植田 耕司
 国吉城発掘記 河本 愛輝
 のろし駅伝 10月に北国ルート、
 11月に琵琶湖一周駅伝 編集 室
 山城を歩く 植田 耕司
 ぶらり近江はっけん伝(2) 岸野 洋
 インタビュー 湖と生きる オベ

ラの大作に挑む テノール歌手
 二塚直紀さん
 聞き手・植田耕司／写真・長井泰彦
 おもしろ近江考古学(13)
 金箔を貼った瓦 松浦 俊和
 待(まつ)文麻呂の芸能話(2)
 ガマの油口上
 北から南から
 水の里のさかなしらべ 伊東 晃
 脈々と息づく少年赤十字の精神
 松村 太平
 電線・電柱の無い街並み 大木 文雄
 二つの県民歌 眞壁 四郎
 歴史の玉手箱(5) 近代における
 瀬田唐橋架け替え史 岡本 和己
 大津京、万葉をうたう(6) 国難
 から解放された時期に突然病に
 倒れた天智天皇
 文と曲・林博通／画・鈴木靖将
 みちくさ近江(3) 「鯖の道」に伝
 わる六斎念仏(高島市朽木古屋)
 三宅 貴恵
 ニュースの小箱 観峰館で「野口
 家十一屋コレクション」展 江
 戸から明治にかけての書画の名
 品を披露／真夏の米原で滋賀県
 美術展覧会開催 県立近代美術
 館のリニューアル工事に伴って
 近江の懐(ふところ)(4)
 八日市宿 加藤賢治／石川亮
 三角点の山と私(14) 花の山(2)
 陣尾山 太田 豊三
 乗鞍岳 松田 久雄
 ◆彦根城博物館だより
 〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
 TEL0749-22-6100 1988年創刊
 www.hikone-castle-museum.jp

◇118 2017.9 A4 4p
 特別展 国宝・彦根城築城410年
 祭閑連事業 2017年NHK大河
 ドラマ「おんな城主 直虎」特
 別展 戦国！井伊直虎から直政
 へ 滋賀県指定有形文化財 朱
 漆塗仏二枚胴具足 本館蔵
 展示案内 9月～11月 常設展示
 “ほんもの”との出会いー彦根藩
 井伊家伝来の大名道具を中心に
 八〇点あまりを展示、テーマ展
 展示室1 雅な遊び、特別展
 展示室1～6 国宝・彦根城築
 城410年祭閑連事業 2017年N
 HK大河ドラマ「おんな城主
 直虎」特別展 戦国！井伊直虎
 から直政へ
 直亮コレクションの充実を支えた
 人々 高木 文恵
 ◆大山崎町歴史資料館報
 〒618-0071京都府乙訓郡大山崎町大山崎字
 竜光3 TEL075-952-6288 1995年創刊
 ◇23 2017.3 A4 28p
 芸仲堂所蔵『蘭花譜』試し刷りに
 ついて 福島 克彦
 ◆古代史の海 「古代史の海」の会
 〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9
 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
 www.7ocn.ne.jp/~kodaishi/
 ◇89 2017.10 A5 64p 1500円
 巻頭言 神武天皇と清和源氏 河越 尚司
 景初三年六月の倭女王の遣使につ
 いて 塚口 義信
 アンデス通信(42)
 日本の海・湖を旅して 市木 尚利
 本誌第88号「編集後記」を読んで

尾関 章
 書評 塚口義信著『邪馬台国と初
 期ヤマト政権の謎を探る』 荊木 美行
 新刊紹介 平林章仁著『蘇我氏と
 馬飼集團の謎』 上遠野浩一
 百済観音の飛鳥時代(12)
 飛鳥時代の政治と仏教(3) 山下 輝幸
 それは不都合な資料だったのか
 ー「考古学からみた狗奴国と尾
 張連氏」を見聞して 尾関 章
 ◆史迹と美術 史迹美術同友会
 〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
 西大路町146 中西ビル内
 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
 https://www.shibikai1930.com
 ◇878 (87-8) 2017.9 A5 32p 916円
 塔心礎の排水機能に関する研究(1)
 内藤 仁
 組立百萬塔のレントゲン透亮像部
 分のCT所見 岡 成寛
 小田原における別荘群の成立と茶
 室遺構 矢ヶ崎善太郎
 第1033回例会
 御室仁和寺周辺の文化財 矢ヶ崎善太郎
 第1034回例会
 東本願寺の文化財を訪ねて 加藤 友規
 新刊紹介 木下浩良著『戦国武将
 真田一族と高野山』
 ◇879 (87-9) 2017.11 A5 30p 916円
 塔心礎の排水機能に関する研究(2)
 内藤 仁
 「東大寺大湯屋初公開」見学記 村田 和義
 第1035回例会
 明日香村の石造物総巡り 大槻 順子
 第26回石造美術勉強会報告 滋賀
 近江八幡市方面の石造美術と庭
 園 田中 康夫

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町
14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/
◇59 2017.9 A4 8p
第46回地名フォーラム報告
講座 地名学への招待 シリー
ズ1 地名が「難読・難解」
になるのはなぜか 糸井通浩
入江 成治
発表 薩長同盟締結地「御花畑」
発見 原田良子 原田 良子
京都地名研究会 宇治観光ボラン
ティアクラブ共催 2017年度京
都地名ウォーク テーマ「宇治
市木幡に薩原氏の酒造を訪ね
て」講師：酒井源弘氏
第47回地名フォーラム開催案内
講演 テーマ「宇治茶と地名」
桑原秀樹氏、発表要旨 テーマ
「宇治を歩く～二つの宇治の物
語から」梅山秀幸氏
シリーズ 私の地名学文献紹介(2)
伊東ひとみ著『地名の謎を解く
一隠された「日本の古層」』糸井 通浩
地名随想 北山の山名(8) 小寺 慶昭

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇71 (25-1) 2017.8 A4 18p
スポット ミュージアムの収蔵品
(68) グリーンハムコモンのパ
ンド 兼清 順子
巻頭つれづれ 「鳥の糞」とアリ
から思ったこと 安斎 育郎

着任挨拶 「八年抗戦」から「十
四年抗戦」へ 絹川 浩敏
平和教育研究
日本国憲法施行70周年記念国際
シンポジウム「欧州とアジア
の人権」 出口 雅久
ベルファストでの国際平和博物
館会議について 山根 和代
博物館海外調査報告 兼清 順子
運営委員リレー連載
平和運動の記憶 徳久 恭子
ボランティアガイド活動日誌
伝える努力を続けたい 馬場 央

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
◇358 2017.10 B5 12p
食野出入り一件(食野騒動)関係資
料 樋野 修司
岡本村の歴史散歩(2)
明治初期の農産物 立石 元
和泉の中世城郭(51) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(32) 中野 浩一
◇359 2017.11 B5 12p
佐野と近辺の里謡(前) 北山 理
明治初期の地誌書に見る泉州(7)
一日本地誌提要 岸田 修一
岡本村の歴史散歩(3)
船岡神社の話 立石 元
たそがれの泉州弁(33) 中野 恒一

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇398 (34-10) 2017.10 B5 8p
巻頭言「神のおやしろのこと」(25)
「少彦名神社」(2) 和久 敦也
平成29年9月例会報告(第373回)
「石見銀山」—世界遺産十周年記
念として 田村紘一氏 (報告・寺井)
骨董秘話「菱田春草の軸」 中澤 祐一
会員の書評 「伊達騒動と原田甲
斐」(小林清治著 吉川弘文館)
加藤 照也

◇399 (34-11) 2017.11 B5 8p
巻頭特別ニュース 高田松原の松
が阿弥陀仏に 松坂名誉会長の
菩提寺に奉納
平成29年10月例会報告(第374回)
「豪農たちの家格競争」—泉州岸
和田藩の七人庄屋を事例として
萬代悠氏 (報告・朝山)
会員講座・第25回 古文書講座
「明治の手紙を読む」 中澤祐一
氏 (報告・磯崎)
会員の書評 「足利尊氏」(森茂暁
著 角川選書) 加藤 照也

◆かいづか文化財だより テンブス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇63 2017.10 A4 8p
第59回近畿・東海・北陸ブロック
民俗芸能大会(大阪大会)を11月
12日(日)に開催します 山田権
六おどり/櫻山八幡宮の獅子舞
/尾張万歳/大杉ざんご踊り
/八田獅子舞/西岩代の子踊り
/貝塚の東盆踊り
要家住宅の国登録有形文化財を記
念してイベントを開催しました

岩橋善兵衛と望遠鏡(4)—善兵衛
をめぐる人びと その1
古文書講座—市内にのこる身近な
古文書 根来者と泉南・紀北—
秀吉の紀州攻めとその後
孝恩寺の仏像—菩薩(7) 十一面
観音(伝観音菩薩)/水間街道沿
いの道しるべ(6) 水間街道町
石3(三ツ松)

◆家系研究 家系研究協議会
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 1981年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇64 2017.10 B5 103p 1500円
堀尾茂助吉晴の祖系 宝賀 寿男
全国安原氏出自総覧(1) 安原 繁俊
珍姓のルーツ(29) 中田みのる
三井覚右衛門景国の系譜 三井 久安
播州三木町の発展に善政
一柳家臣門川氏より都築氏へ 安居 隆行
比留間氏のあゆみ—岡・比留間氏
編(埼玉県朝霞市) 比留間和憲
反西郷の雄 末弘直方 野田 幸敬
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話
刀鍛冶の里(8-3) 浪平 博司
表紙家紋「二重釘貫」 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇62 2017.10 B5 8p
飯盛山と茶白山 馬原 浩一
家系研究協議会 平成29年度 総
会及び春の例会報告「真田幸村

の虚像と実像 幸村の子女達」
真田徹氏 (馬原)
珍名さんいらっしゃい(54) 眞野 幹也

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇814 2017.9 A4 10p 300円
渡来人とキトラ古墳 猪熊 兼勝
古代・中世の石燈籠

一奈良市街地東部を中心に 狭川 真一
あまみ温泉「南天苑」の本館につ
いて一堺大浜「潮湯家族湯」の
移築と建築 川島 智生

◇815 2017.10 A4 10p 300円
旧大和川を歩く(1)
一天井川と洪水 安村 俊史
奈良市阪原町 長尾神社の秋祭り 武藤 康弘

◇816 2017.11 A4 8p 300円
伊勢参宮街道を訪ねて(2) 来村多加史
新沢千塚と周辺の史跡 関川 尚功

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/

◇585 2017.9 B5 22p
8月・第646回例会の報告
洛北 鞍馬山・鞍馬寺を訪ねて
担当幹事：川端義憲 川端 義憲

大坂城築城残石(赤田川大野浜)の
保存運動への思い 平川 大輔
阿波青石の穴太積石垣の一宮城と
徳島城 藪西 旭

別冊 第647回 大和郡山城・小
泉陣屋を訪ねて 担当幹事：中

西徹・水品弘樹
◇586 2017.10 B5 18p

9月・第647回例会の報告 大和郡
山城と小泉陣屋を訪ねて 担当
幹事：中西徹・水品弘樹 報告・水品弘樹
四国一周お城旅日記

讃岐の戦国の城を(1) 藪西 旭
別冊 第648回 環濠都市 堺に三
好氏の史跡を訪ねる 担当幹
事：石田泰信・木下修二

◇587 2017.11 B5 22p
10月・第648回例会の報告 環濠
都市・堺に三好氏の史跡を訪ね
る 担当幹事：石田泰信・木下
修二 石田泰信/木下修二

近江信楽・多羅尾代官陣屋周辺の
砦跡 編集部
四国一周お城旅日記

讃岐の戦国の城を(2) 藪西 旭
別冊 第649回 近江日野 鎌掛城
(音羽城)を訪ねて 担当幹事：
坂本昇・中西徹

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

◇357 2017.10 B5 14p
『播磨国風土記』とその神々(上)
一在地神と異境の神 荊木 美行
吹田市旧吉志郡から垂水にかけて
の史跡を訪ねる 小川 滋

◆ヒストリア 大阪歴史学会
〒558-8585大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪
市立大学大学院文学研究科 岸本直文研究
室気付 1951年創刊
www.historia-osaka.on.arena.ne.jp

◇263 2017.8 A5 109p 900円
律令制下の「土毛」調達について

増成 一倫
三経義疏の書写記録と撰述伝承 大艸 啓
中世後期荘園における検注使一永
享二年の粉河寺領東村を中心に

高橋 傑
わたしたちの文化財
特別史跡 百済寺跡 大竹 弘之
書評 黒田基樹著『羽柴を名乗っ
た人々』 谷 徹也

報告 宮内庁書陵部との懇親会
2017 企画委員会
2017年度大会・総会の記録 全体委員会

◇264 2017.10 A5 156p 900円
特集 難波宮下層遺跡と上町台地
北端部の開発

特集にあたって 大阪歴史学会
大阪海岸低地における古地理の
変遷一「上町科研」以降の研
究 趙哲済/中条武司

大阪地域における先史・古代の
漁撈活動の変遷と難波宮下層
遺跡の評価 大庭重信/丸山真史
難波宮下層遺跡における手工業
生産 杉本 厚典

東寺領山城国上久世荘における
「荘家の一揆」と損免・井料 高木 純一
紀州藩・鳥羽藩領における幕府広
域支配実現の特質一近世中後期
の公儀浦触廻達を素材として 糸川 風太

書評
中野渡俊治著『古代太上天皇の
研究』 春名 宏昭

荘園・村落史研究会編『中世村
落と地域社会一荘園制と在地
の論理一』 高木 純一
新刊紹介

天野忠幸編『松永久秀』 笹木 康平
関口哲矢著『昭和期の内閣と戦

争指導体制』 安 裕太郎
大乘院寺社雑事記研究会編『大
乗院寺社雑事記論集』第五巻
服部 光真

報告
2017年度「第33回歴史学入門講
座」の記録 牧野 竜也

ピースおおさかの展示リニュー
アル続報(13) 展示の一部を
手直し、特別展に市民の声も
実行委員(文責・横山篤夫)

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所
〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL06-6721-2332 1989年創刊

◇29 2017.10 A5 435p
《和歌山県の民俗》
紀州の押送船 胡桃沢勘司
古代熊野信仰の原像を訪ねて 網 伸也

高野山納骨習俗の地域差
一和歌山県北部を中心に 藤井 弘章
近代和歌山における鉄道の開通と
参詣への影響一紀和鉄道の経営
と高野参詣とを関わらせて 井田 泰人

延享元年、徳川宗直の御帰城と橋
本町方 笠原 正夫
高野山周辺の御田一真国を中心に
森本 一彦

「御幡／布鋒／衣幣」考一紀州の
祭りにみる古祭具のかたち 蘇理 剛志
村の牛玉宝印 坂本 亮太

和歌山県紀美野町における動物の
民俗 俵 和馬
書評と紹介 齊藤修著『環境の経
済史 森林・市場・国家』 鈴木 伸二
付録 民俗学研究所第二八回公開

講演会 縁結び・縁切りの習俗の現在(講演要旨) 松崎 憲三

◆神戸史談 神戸史談会
〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6
佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348 年3000円
1926年創刊

◇314 2017.1 A5 108p
年頭寄稿文 光格天皇御即位式絵
図をめぐる 加藤 隆久
復刻(会誌262号 昭和63年1月発
刊) 神戸開港と神戸事件一近
代日本外交史の第一頁 島田 清
歴史人物静思シリーズ 柴田剛中
須田 京介
随筆 まちづくり学校主催「まち
に刻まれた土木を訪ねる」受講
の思い出 田中 正文
FMわいわい放送「長田今昔もの
がたり」 井上勇/和田幹司
NHK連続テレビ小説「べっぴん
さん」モデル 坂野純子の人生
(略伝) 辻 正彦
学童疎開は生死を流離う 増田 順一
祝 神戸開港百五十周年への弊会
取りくみについて 佐藤憲太郎
1月例会 大輪田泊～兵庫津～神
戸港「映像鑑賞とお話」 加藤 隆久
3月例会 「戦前の神戸地区の珍
しい映像」鑑賞と会誌314号寄
稿論文補足説明 榎田 輝郎
4月例会 尼崎寺町めぐり 佐藤憲太郎
5月例会 第11回在神神社・仏閣
探訪と講話会 猿丸 義也
6月例会 嘉納治五郎先生小伝 豊田 實
10月例会 神戸市埋蔵文化財セン
ター 見学 佐藤憲太郎
11月例会 中世兵庫津の繁栄一文

安2(1445)年「兵庫北関入船納
帳」の分析 神木 哲男

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇594 2017.9 B5 8p
安政四年西宮銀目私札種類の検証
藤田卯三郎
「船場文化と阪神間」、近江晴子さ
ん、前川佳子さん、大いに語る
江寄健一郎
「西宮」保存箱、玉手箱(45)一情報
公開課資料より アメリカ博 豊田 みか
香榎園浜・御前浜今昔物語(2)
海岸の移り変わり 村岡 和繁

◇595 2017.10 B5 8p
ブラジルに夢馳せた弓場勇一家と
大正デモクラシー(2) 山下 忠男
往時茫々“昭和五十四年中国の旅”
(5) 二宮 健
「西宮」保存箱、玉手箱(46)
薄田泣重と郊外生活一情報公開
課資料より 豊田 みか

◇596 2017.11 B5 10p
秋の見学会 西播磨の旅 ご案内
堀内 陽光
西宮・鳴尾の地に「平林会館 西
宮能楽堂」が完成・開館 森村 暁子
「西宮」保存箱、玉手箱(47)も
うひとつのマンボウ一情報公開
課資料より 豊田 みか
豊臣大坂城・徳川大坂城の採石地
西宮について一渡辺武、元大阪
城天守閣館長大いに語る 江寄健一郎

◆東播磨 地域史論集
東播磨地域史懇話会

〒675-1224兵庫県加古川市平荘町上原
298-1 山本祐作方 TEL079-428-1055
1994年創刊

◇23 2017.6 A4 40p
「土鶴鉄道」の夢(2) 船越 哲也
明石市西部地域の湧水(どっこい
しょ)の分布について 森本 眞一
三木合戦で三木市久留美の慈眼寺
に運ばれた加古川東神吉町升田
に所在した旧佐伯寺梵鐘につい
て 上月 昭信
古記録にみる日岡山古墳群(2) 山本 祐作

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0551
年3000円 1962年創刊

◇324 (56-5) 2017.10 A5 41p 600円
《特集 新視角・ひょうごの古代史》
「播磨国風土記」の「鹿」地名
一説話に見る律令官人の筆力 小西 規雄
「新撰姓氏録」考
一その歴史的背景について 寺本 躬久
長岡京遷都と和気清麻呂・都下国
造 羽床 正明
地域から 地元で歴史を語り合っ
て「上野・歴史をかたる会」の
立ち上げ 竹村 勝昌
神戸開港・大阪開市150年記念
第10回外国人居留地研究会全国
大会 in 神戸2017
新聞新聞地域版を読む 神戸新聞
の文化財記事(2014年2月28日～
3月26日) 大国正美/有吉康徳

◆秋篠文化 奈良芸能文化協会
〒631-8511奈良市西大寺東町2-4-1 ならフ
ァミリー6階 秋篠音楽堂運営協議会「伝

統芸能部会」 TEL0742-35-7070
2003年創刊

◇11 2017.2 A5 165+54p
《特集 大和の仕事歌》
『五線譜に生きる大和の歌』にお
ける「大和の仕事歌」一その歌
詞と楽譜 久保田敏子
大和のうたごえ 鹿谷 勲
牧野英三先生の民謡調査 岩坂 七雄
資料 牧野英三先生著作選
(芸能と民謡関係)
陽音階民謡における終止音につ
いて一現在奈良県下において
唄われている
陰音階民謡における終止音につ
いて一現在奈良県下において
唄われている
題目立の旋律構造について
太鼓踊の旋律について一現在奈
良県下にのこされている
民謡とはなにか一大和の事例から
真鍋 昌弘
転載資料 大和のうた一『県政奈
良』掲載記事 牧野 英三
大和のうた～仕事歌(付録音源C
D目次)
秋篠音楽堂 伝統文化公演の記録
『秋篠文化』総目録(創刊号～11号)

◆山の考古学通信 山の考古学研究会
〒634-0065奈良県橿原市畝傍町1
奈良県立橿原考古学研究所内

◇22 2010.12 B5 12p
幻の「あとがき」『山岳信仰と考
古学II』編集委員会 時枝 務
立山雄山山頂で採取した珠洲陶製
経筒外容器 佐伯 哲也
伊豆走湯から日金山 森下 恵介

奈良春日大社の土器 池田 裕英
ラオス・ワットプー遺跡訪問記 入倉 徳裕
第23回山の考古学研究会 大西 貴夫

◆LUCIFER ルシファー

奈良人権文化財団 水平社博物館
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588 1999年創刊
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/

◇20 2017.10 A5 56p

企画展・特別展

第17回企画展「ユネスコ アジ
ア太平洋地域『世界の記憶』
登録記念 水平社と衡平社一
国境を越えた被差別民衆連帯
の記憶」を開催して 佐々木健太郎
第20回特別展「表現の自由と差
別」を開催して 駒井 忠之

公開講座報告 2016年度第2回公
開講座「水平社と衡平社の交流
について」講師：京都大学名
誉教授・立命館大学客員教授
水野直樹さん

事業報告

第8回(2017年度)奈良人権文化
選奨表彰

2017年度「熱」と「光」のショ
ートレター」各部門受賞者を表
彰

2016年度紀行文感想文 入選 鶴
田猛虎さん(大阪府 地方公務
員)

中国・四国

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp

◇192 2017.9 B5 48p

会長就任にあたって 山崎 裕二
出雲大社の建造物シリーズ(8)

出雲大社会所の保存修理工事に
ついて 文化財建造物保存技術協会
日本遺産「日が沈む聖地出雲」特
集(3) 日御碕の夕日に寄せて 吉田 明弘
消えゆくもの(56)

一出雲弁(灘ことば) 春木 芳子
中学生出雲弁川柳 大社中学校
戦後の大社陸上競技私史(3) 久家 彰
一登山者の探した日御碕山境石論

田中 貞利
出雲と伊予の少彦名命(1) 曾根 弘輝
大社の石造物(7)
小林徳一郎君表彰碑 藤原 慧
特別展「島根の仏像—平安時代の
ほとけ・人・祈り—」
島根県立古代出雲歴史博物館

「伝説の教科書を作った郷土の偉
人—塩野直道物語—」を開催し
て 出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季 杵築文学あれ
これ(7) 募句ちらし 佐々木杏里
平成29年(2017)4月~6月
出雲市大社町年表 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊

◇64 2017.10 A4 10p

追悼再掲記事

湯迫の万燈会と明禪寺合戦 柴田 一
百姓からみた宇喜多直家 柴田 一
新出史料に見る明治三年の宇喜多
一類 大西 泰正
備前法華の成立と宇喜多家家臣団

矢吹 壽年

物語直家記伝 西大寺辺の城
第35回 自立(12) 山重十五郎

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円
1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇142 2017.9 B5 30p

「師範学校規程」制定後、明治末
期の岡山県における私設小学校
教員養成所—女子師範学校裁縫
講習料の欠を補完した私設小学
校教員養成所 遠藤 健治
史料紹介 津山藩の「赤子間引取
締」と死胎披露書 沢山美果子
活動報告 2016年度岡山史料ネッ
トセミナー

岡山史料ネットの活動と各地の
動向 上村 和史
第3回全国史料ネット研究交流
集会へ参加して考えたこと 首藤ゆきえ
2016年度岡山史料ネットセミナ
ー参加記—今、自分らは何が
できるか 小野 功裕

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号
TEL086-233-2505

◇147 2017.9 A5 14p

倉敷考古館 館長随想 香川 俊樹
活字文化を守ろう—エッセイスト
クラブの十五年 柳生 尚志
岡山の人物 宇喜多秀家 乗岡 実
岡山の自然 ナゴヤダグマガエル 江田 伸司
岡山の文化財 木山神社 山崎真由美

わが町・わが村の自慢 倉敷市旧
柚木家住宅 西爽亭(倉敷市玉
島)

ふるさとの思い出 吉川八幡宮当
番祭(加賀郡吉備中央町吉川)
地藏岩ヤッホー公園は修験道場だ
った 小川 大石

◆芸備 芸備友の会

〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
小都隆方 1973年創刊

◇48 2017.9 B5 72p

「広島県の遺跡は今」講演・座談
会の報告 芸備友の会
「広島県の遺跡は今」講演・座談
会の報告
二子塚古墳の発掘調査成果 内田 実
「史跡・二子塚古墳の築造背景
を探索」座談会の概要
白石太一郎/内田実/新谷武夫
/篠原芳秀/司会・脇坂光彦

「三次地域の古墳研究」報告・討
論会の報告 芸備友の会
三次地域の古墳研究史 桑原 隆博
三次市内における古墳の発掘調
査歴/三次の古墳を探る—三
次地域の古墳研究史・文献 桑原 隆博
三次の前方後円墳・古墳群理解
への問題提起—古墳の実態把
握のための基礎的視点 加藤 光臣
史跡浄楽寺・七ツ塚古墳群の研
究課題—これまでの研究成果
田邊 英男
「三次の古墳を探る」討論・座
談会の概要

加藤光臣/桑原隆博/田
邊英男/司会・脇坂光彦
「考古学が見た郷土の歴史」講座

の報告 芦田川下流域の弥生時代
代 尾崎 光伸
遺跡・文化財の動向—2017(平成
29)年1月～8月 文責・脇坂光彦

◆芸備地方史研究

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
hiroshima-u.ac.jp/geishi/

◇308 2017.10 A5 28p 600円

明治初期の海軍と西海鎮守府 市川 裕士
動向

新聞記事から(2014年7月～12月)
広島県の地方史研究

雑誌目録／研究活動
史跡をあるく 御手洗天満神社中
村春吉碑 文・写真 鴨頭俊宏

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net

◇198 2017.10 A4 24p

備後国衆湯浅氏
—その出自を巡って 田口 義之

調査報告 中世石造物の調査報告
郷土探訪 紙上ぶら探 参勤交代
の道を往く—中津原 根岸 尚克

田口義之の備後山城50選(20)
福山の天空の城 相方城跡

備後百景 庄原市本郷 山口 哲晶
研究レポート 草戸千軒と水路(4)

—鷹取城の発見と今に残る草戸
千軒町の土地区画 瀬良 泰三

大分便り
父からの伝言(後藤家の系図) 後藤 匡史

辻堂百景(14)
福山市駅家町中島「地藏堂」 秋山 由実

近世福山の歴史講座
福山城下の上水道 高木 康彦

古墳講座 指定文化財が語る備後
の歴史(3)(下)—鉄は国家なり 網本 善光

備後の肖像 峯松熊太郎とライ—
あるフィリピン開拓者とその妻 峯松 俊彦

郷土探訪 山陽鉄道のレンガ橋台
と境界石について 岡田宏一郎

読者便り
特報!本能寺の変、新資料 野母 寿子

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇319 2017.10 B5 12p

今月の各地 雑感 川上 哲司
山陽鐵道案内(1) 糸崎駅 西村 雅幸

停車場名欄之義ニ付御説論願 定森 聰治

◇320 2017.11 B5 12p

今月の各地 地元の祭りを守ろう
西村 雅幸

山陽鐵道案内(2) 三原駅 西村 雅幸
停車場名欄之義ニ付申請書(完) 定森 聰治

糸崎の縄文遺跡(1) 大谷 和弘

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口市後河原150-1
山口県文書館内 TEL083-924-2116

1954年創刊 www.ysflh.jp

◇118 2017.10 A5 128p

大内氏奉行人青景隆著についての
小論 付・梨子羽景運考 田窪 昭夫

八幡方と八幡改方、そして伊崎宰
判 石川 敦彦

萩藩における畔頭と村落支配 内田 鉄平
詩人的側面からみる高杉晋作

—「梅」を詠んだ漢詩を取り上

げて 牛見 真博
地下上申宇佐村絵図の幾何構造と

村境接続技術 西尾 良司
勅皇女流歌人野村望東尼の山口に

おける動静を推理する 桑原 邦彦
長井雅楽の「贈位」について 上符 達紀

歴史散歩 古建築の「発見」と文
化財保護のコトハジメ

CHUTA IS COMING TO
YAMAGUCHI 浅川 均

新刊紹介 児玉識著『上山満之進
の思想と行動』 田村 貞雄

発表要旨 第126回研究大会
海峡都市の曙光—古代・中世の

下関 岡松 仁
長府藩の成立と毛利秀元 松田 和也

下関の幕末・近代—下関市立歴
史博物館収蔵資料から 稲益あゆみ

◆東かがわ市歴史民俗資料館友の会だより

〒769-2901香川県東かがわ市引田1000-4
TEL0879-33-2030

◇39 2015.8 A4 6p

国宝 大山城を訪ねて 長池 武
引田町人物史(2) 黒羽村の組頭 占部日出明

引田海鼠腸と斎藤徳元という人 木村 篤秀
水主神社東の宝篋印塔について 松田 朝由

幻の伏見城跡(指月城) 発掘調査
現地説明会に参加して 山西 仁

◇40 2016.2 A4 8p

「友の会だより」第四〇号発行記
念によせて 長池 武

残したい、伝えたい 木村 篤秀
引田町人物史(3) 戦国、江戸時

代における引田への移住者 占部日出明
「境目」二題 藤本 正武

五名地藏堂の地藏石仏 松田 朝由
(仮称)「屋嶋城門」今春開園 柏原 荘一

我拝師登山 木村 守
◇41 2016.8 A4 8p

「引田町書画集」について 占部日出明
あめやハイツ五輪塔 松田 朝由

史料紹介 南夷図録を読む 猪熊 全徳
大内郡の遍路道を歩く 木村 篤秀

北海道の縄文遺跡を訪ねて 木村 守
世界三大仏教遺跡巡り

カンボジア編 坂東 照司
◇42 2017.6 A4 14p

設楽原・長篠古戦場を訪ねて 長池 武
『引田町の地勢話』の発刊 占部日出明

ささやかながら 木村 篤秀
「縄文遺跡を訪ねて」(2) 木村 守

引田に残る生駒氏ゆかりの伝承か
ら探る引田城と城下町 萩野 憲

世界三大仏教遺跡巡り第二弾
ミャンマー編 坂東 照司

引田八幡宮 お旅所 小海川附近
のこと—江戸時代の文書の紹介 藤本 正武

引田坂の下の御影石製五輪塔 松田 朝由

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立
図書館内 1915年創刊

◇387 2017.10 A5 39p 750円

伊予の仏像 武田 和昭
史料紹介 『仙波太郎日記』に見

える郷土関連の記事について 田所軍兵衛
歴史余話

寶巖寺の再建 三好 恭治
「歴史は役に立つ」—最近の日本

史教科書の記述から 永井 紀之
新刊紹介 平井上総著『長宗我部

元親・盛親』、神奈川大学日本
常民文化研究所編『論集「瀬戸

内海の歴史民俗』、伊藤茂著

『「西条誌」絵図の今むかし』、
愛媛県歴史文化博物館編『はに
坊と行く！えひめの古墳文化』、
武田和昭著『四国へんろの歴史
—四国辺路から四国遍路へ—』

編集部

郷土その日その日 編集部(柚山俊夫)
例会記事 第1225回～第1227回

九州・沖縄

◆福岡地方史研究

福岡地方史研究会(発売:花乱社)
〒811-2113福岡県糟谷郡須恵町須恵820-2
石瀧豊美方 TEL092-933-0426
年5000円 1964年創刊
karansha.com/tihoshikenkyu1.html

◇55 2017.9 A5 176p 1500円

《特集 明治150年》

幕末政治史の対立点と閉鎖問題 力武 豊隆
草莽 戸原継明論(上)

明治九年秋月の乱への一道理 師岡司加幸
福岡藩士の長崎遊学 石瀧 豊美
福岡市の明治百年記念事業を回顧
する「産学官」の連携と市民
総意 八尋 國臣

幕末久留米藩における田中久重の
大砲製造(下) 在来技術により
造り上げられた施条後装砲 河本 信雄
古代の銅生産(製錬と精錬)につい
て 律令体制下の豊前国の動向
中村 修身

もう一人の渡り陶工高原五郎七を
追って 副島 邦宏
小倉空襲試論

「戦意」を中心とした一考察 梶原 康久
インタビュー 昭和と共に人生
台北高射砲隊への配属と復員 藤本 隆士
十返舎一九における手鎖五十日の

影響についての一考察 下畑 博明

宝暦度朝鮮通信使と福岡藩

副使船事故の真相は? 今村 公亮

天の岩戸隠れ神話の起源について

玄界灘で起こった日没帯食が神

話の原体験か? 山口 哲也

古文書蒐集折々譚(1) 宮 徹男

古文書入門講座(6)

宝暦年中の儉約令と農民統制 鷺山 智英

例会卓話記録

平成28年8月～29年7月

本の紹介 修験道のエコロジカル

な本質 恒遠俊輔著『修験道文

化考—今こそ学びたい共存のた

めの知恵』 師岡司加幸

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1

TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇211 2017.9 B5 20p

唐津市重要文化財

木像観音菩薩座像 志佐 惲彦

邪馬台国は畿内にあった?

—卑弥呼の王都は纏向遺跡か 堀川 義英

世界に誇れる文化遺産「大島邸を

残す会」の市民運動と残された

課題 中里 紀元

江戸時代の唐津—唐津藩は幕末の

動乱をどう生き抜いたか 山田 洋

考古学における地方史研究の成果

五、時代の証(五) 火山噴出物

田島 龍太

上松浦に於ける松浦黨 吉村茂三郎

解説 『平松儀右衛門道中日記』(2)

久我 圭子

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方

年2000円 1995年創刊

https://hakkouitunotoujimdo.com

◇80 2017.9 A4 12p

石の証言 妻町穂北古蹟保存会

45×60

第21回戦争遺跡保存全国シンポジ

ウム高知大会「今こそ戦争遺跡

を平和のために」報告 追立 敏弘

第27回 8.15ウォッチング「八紘

一字」の塔

「八紘一字」の塔を案内

連合熊本・県南地域協議会

紀元二千六百年、「八紘一字」を

問う 反骨のジャーナリスト

桐生悠々(1) 野崎 眞公

「共謀罪」と密告社会(3)

「治安維持法」とその時代 南 邦和

米大統領選トランプ氏勝利から日

本社会を考える(3) 杉尾 宏

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8

下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊

◇222 2017.9 B5 8p

9月定例会レジュメ 宮古島地名

雑考(2) 地名を「地形と伝承」

で訪ねる 下地 利幸

10月定例会レジュメ 『宮古史伝』

90年、『宮古島庶民史』60年(2)

—その偉大さに向き合い、改め

て見直す 下地 和宏

太平洋戦争時の上野字野原

—七月定例会を終えて 久貝 弥嗣

『宮古史伝』90年、『宮古島庶民史』

60年—8月定例会を終えて 下地 和宏

第8回城辺ふれあいまつり

「文化財等史跡巡り」 久貝 春陽

平成29年度県民カレッジ第二回講

座 下地 和宏

第32回企画展「大正時代・ミヤ

クぬ写真展～ロシア人言語・民

俗学者ネフスキーが見た宮古の

風景～」/企画展関連講話「ネ

フスキーが残した遺産～宮古の

文化財を世界に伝えたい～」 與那覇史香

「国民学校一年生の会」、K氏を囲

むK君らの友情、「憲法九条の

碑」建立10周年 仲宗根將二

上原清治ご夫妻を悼む 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆盛岡藩又重村寺子屋師匠 三明院昌豊関係

資料集 東北文化資料叢書10 近世地方史

・民衆教育史資料

東北大学大学院文学研究科東北文化研究室

(〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1) 2017

年3月 B5 203頁

盛岡藩五戸通又重村館町集落(現 青森県三戸

郡五戸町大字倉石又重字館町)に住し、天保

期に館町集落内で男子51名の寺子屋を営んで

いた本山派修験 三明院昌豊に關係する資料

を集める。昌豊の子孫に伝来する「服部勤家

文書」をはじめ、旧又重村内に所在する近世

・近代文書や寺院・神社・墓地・石造物など

の現地調査を通して描く、「家」と村落社会

・子ども、領主支配をも視野におさめる「日

本村落史」の視座からの資料集。総説(熊谷

隆次)/服部勤家文書(解題:藤田俊雄)/小

笠原義高家文書(解題:熊谷隆次)/竹洞兼雄

家文書(解題:兼平賢治)/多門院文書(細川

潤八郎氏所蔵)(解題:熊谷隆次)/服部勤家

毘沙門堂棟札(解題:熊谷隆次)/三明院昌豊

筆塚(解題:熊谷隆次)

◆あなたの内なる道鏡へII

―道鏡誤解の根源をたねる
本田義幾著（〒989-6156 宮城県古川市古川西館3-4-35 TEL0229-22-7364）2017年4月 A5 56頁
『あなたの内なる道鏡へ』（2015年4月）に続き、道鏡を知る会・守る会共催による東京での道鏡資料展（1993年）にあわせて出版された『孝謙天皇と弓削道鏡の場合』収録の「道鏡誤解の根源をさぐる」を増補してまとめる。
本論 悪僧・無道の道鏡をさぐる／序として／明治以前の歴史書での道鏡についての記述をみる（正史『続日本紀』にみる、江戸期までの歴史書などにみる）／道鏡が悪人視される根源をさぐる（概観的に、戦前の小学校教科書にみる、戦前の教師用解説書にみる、戦前の試験問題にみる）／道鏡悪人視は根強くはびこっている（出版された本にみる、戦後の小学校教科書のなかで、大学予備校での講義にみる、道鏡の出身地や没した地では）／道鏡見直しを（道鏡事件でみる、道鏡に対する好意的見解をさぐる、道鏡は戦後見直されたのでしょうか）／補論 好色・男根道鏡説を思考する
◆大鳥 東北一万年のフィールドワーク13 東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊（〒990-9530 山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-2168）2017年3月 B5 51頁
2015年から行われた山形県鶴岡市旧朝日村大鳥地区の調査成果をまとめる。大鳥の概要（本間かりん）／山から糧を得る 野生動物植物利用の一年（本間かりん）、山菜（本間かりん）、コラム 焼き畑の思い出（浅野友理子）、トチの実（本間かりん）、コラム 大鳥の餅（浅野友理子）、狩る―春クマ猟を中心に（蛭原一平）／家を構え、むらを拓く 明治・大正の大鳥（三浦敦美）、コラム 鉱山の思い出（三浦敦美）、屋号・屋敷図からみる繁岡集落（楳麗）、コラム 大鳥の神社（清野翔子）、水路

からみる繁岡集落（柳澤もも）、コラム 文書にみる近現代の繁岡集落（柳澤もも）／集い住む 講と行事（清野翔子）、大鳥を盛り上げる祭り（本間かりん）、コラム 大鳥の運動会（浅野友理子）、大滝清策さんに聞く タキタロウ村の取り組み（本間かりん）
◆養蚕と紙漉きの記憶―白鷹町深山・萩野 東北一万年のフィールドワーク14 東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊（同上）2017年3月 B5 47頁
2016年から行われた山形県西置賜郡白鷹町の調査成果をまとめる。白鷹町の生業の変遷（守谷英一） 江戸時代以前の白鷹町、近現代の白鷹町―養蚕と織物の発展、萩野について、深山について／民家から観る生業（鈴木清） 萩野 安部家 蚕家、深山 今家、コラム 民家調査を終えて（高橋明日香）／養蚕と紙漉きの記憶 養蚕の仕事（三浦敦美）、コラム 白鷹の特産・天蚕（三浦敦美）、紙漉きの仕事（守屋日向）／深山の生業の変化 深山の生業変遷（三浦敦美）、深山の酪農（五十嵐里帆・三浦敦美・守屋日向）
◆平成27年度 町指定文化財（本上遺跡環状盛土遺構出土品） 伊奈町文化財調査報告書1 伊奈町教育委員会編・刊（〒362-8517 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室9493 TEL048-721-2111）2017年3月 A4 26頁
『伊奈町史』別編など関連図書を継続して刊行するなど、文化財保護保存事業や普及啓発事業に取り組む埼玉県伊奈町で新たに刊行が開始された文化財調査報告書第1集。平成25年2月21日～3月30日に実施した本上遺跡発掘調査で出土した遺物のうち、平成28年3月25日に町指定文化財として指定された「本上遺跡環状盛土遺構出土品」の報告書。序（高瀬浩）／遺跡の立地と環境（地理的環境、歴史的環境）／平成27年度指定文化財について（指定文化財の種類と点数について、本上遺跡の

概要、出土品について、まとめ）
◆本上遺跡〔第2次調査〕埋蔵文化財調査報告 伊奈町文化財調査報告書3 伊奈町教育委員会編・刊（同上）2017年3月 A4 41頁
文化財調査報告書第1集に収録されている平成24年度調査の後、平成27年度（平成27年8月1日～平成28年1月29日）に行われた土地造成計画に伴う発掘調査の成果を収録する。序（高瀬浩）／発掘調査の概要／遺跡の立地と環境／遺跡の概要／遺構と遺物／調査のまとめ
◆古今佐倉真佐子 佐倉市史料叢書 放送大学千葉学習センター菅原憲二ゼミ翻刻 佐倉市史編さん委員会・佐倉市編・刊（〒285-0038 千葉県佐倉市弥勒町78 佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当 TEL043-486-3478）2017年3月 A4 155+11頁
1964年に開始され編纂事業が進められている佐倉市史編さん事業の一環として、佐倉に関わる古文書等の文献資料のなかで重要なものを選んで翻刻・刊行する「佐倉市史料叢書」第1冊。江戸時代中期の佐倉藩主稲葉家に仕えた渡邊善右衛門（1701～1762）が、享保8年（1723）に藩主が山城淀に転封するまでの佐倉藩領内のさまざまな事柄を詳細に記した「古今佐倉真佐子」（佐倉市指定有形文化財）を、できるだけ原本に忠実に翻刻・収録する。刊行にあたって（藤和雄）／古今佐倉真佐子 本文／付録「古今佐倉真佐子」表紙（表・裏）補強反故紙文書／解説（菅原憲二）／索引
◆総州佐倉御城府内之図 佐倉市史料叢書 放送大学千葉学習センター菅原憲二ゼミ翻刻 佐倉市史編さん委員会・佐倉市編・刊（同上）2017年3月
旧佐倉藩士 渡邊善右衛門の記した「古今佐倉真佐子」の付図とされている「総州佐倉御城府内之図」（原図190×131cm）をA1判にて復刻する。「古今佐倉真佐子」と併せて、江

戸中期における佐倉地域の空間情報を伝える数少ない史料。解説：川名禎
◆空華日用工夫略集の周辺 義堂の会編・刊（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学史料編纂所 川本慎自 TEL03-5841-5979）2017年3月 A5 167頁
臨済宗夢想派の義堂周信（1325～88）の日記『空華日用工夫略集』についての論考10編を収録。日記と僧伝の間―『空華日用工夫略集』の周辺（榎本渉）／凶書寮蔵義堂周信著作二題（白井和樹）／『鎌倉大草紙』と小山義政の乱（呉座勇一）／室町幕府下の太田氏（木下聡）／「取次」としてみた坂士仏（小瀬玄士）／東坊城長綱・秀長父子年譜（稿）（白井和樹）／善芳寺観音殿復興と京都の三十三観音（細川武稔）／義堂周信示寂記事に関する一考察（白河宗源）／義堂周信と「吾家」（川本慎自）／龍集 戊寅八月日付遣朝鮮国書について（岡本真）
◆戦中・戦後の記録写真Ⅱ―林重男・菊池俊吉・別所弥八郎所蔵ネガの整理と考察 「戦中・戦後の「報道写真」と撮影者の歴史的研究―東方社カメラマンの軌跡―」2016年度科学研究費助成事業「学術研究助成基金助成金（基盤研究（C））」研究成果報告書
井上祐子・山辺昌彦・大堀宙著 政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室（〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 TEL03-5857-5631）2017年3月 A4 96頁
2014年～2016年度共同研究の報告書2冊目。東方社・文化社カメラマンであった林重男氏・菊池俊吉氏・別所弥八郎氏所蔵の写真ネガについて、解題とともにリストを収録する。総論 林重男・菊池俊吉・別所弥八郎のプロフィールと所蔵写真について（井上祐子）／林重男所蔵写真解題 戦中日本における防空と市民の暮らしの写真について（山辺昌彦）、戦

中日本における軍関係写真について(大堀宙)、1943年中国取材写真について(井上祐子)、1943年フィリピン取材写真について(井上祐子)、1944年東南アジア取材写真について(井上祐子)、戦後写真について(山辺昌彦)／菊池俊吉所蔵写真解題 戦中日本における防空と市民の暮らしの写真について(山辺昌彦)、戦後写真について(山辺昌彦)／別所弥八郎所蔵・撮影写真解題 日本国内の空襲と文化関係写真について(山辺昌彦)、別所弥八郎及び林重男所蔵の大陸打通作戦従軍関連視野心について(井上祐子)／関連論文 民族学者岡正雄の活動と東方社一国際文化交流事業との関わりから(大堀宙)／林重男・菊池俊吉・別所弥八郎所蔵写真ネガリスト(付録CD-ROM所収)凡例

◆武州世直し一揆

近世村落史研究会編 慶友社(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-48 TEL03-3261-361) 2017年2月 A5 596頁 10000円
格差社会への抵抗という現代社会にも通じる1866年(慶応2)の「武州世直し一揆」蜂起から150周年を迎え、半世紀にわたり「武州世直し一揆」研究に取り組んできた近世村落史研究会のこれまでの研究成果をまとめる。
〔幕末の社会変動と民衆意識―慶応二年武州世直し一揆の考察〕「世直し」層の生産条件と階層分化(大館右喜)、生糸貿易と農村窮乏(鈴木研)、「世直し」一揆の展開(森安彦)、武州世直しの行動と意識(大館右喜)／〔研究論文〕「世直し」とは何か―「武州世直し一揆」の検討から(森安彦)、「武州世直し一揆」の再検討―一揆蜂起の上名栗村における新出史料を中心に(森安彦)、幕藩制崩壊期における武州世直し一揆の歴史的意義(山中清孝)、武州世直し一揆における打ちこわしの様相(斎藤洋一)、武州世直し一揆のいでたちと得物(斎藤洋一)／〔研究ノート〕 慶応二年武州

世直し一揆再論(大館右喜)、武州世直し一揆捕縛者の救済歎願(斎藤洋一)、上州方面における慶応二年世直し一揆展開過程の再検討(佐藤孝之)、武州一揆と比企郡高野倉村(千代田恵汎)、「武州世直し一揆」と信濃国の動向(森安彦)、「世直し」一揆考―打ちこわしと施米・施金と焼払い(森安彦)、武州世直し一揆の一考察―所沢、東久留米周辺の状況を中心に(山中清孝)、武州一揆と道一所沢北東部への波及(佐藤容子)、幕末期武州高麗郡における村方出入(押木寿子)、武州世直しと豪農(大館右喜)／〔史料紹介〕 坂戸周辺の「武州世直し一揆」―史料で語る打ち毀し(千代田恵汎)、慶応二年「上武打毀一条見聞録」の紹介(佐藤孝之)、「長州一件附武州百姓騒動」について(押木寿子)、茨城県で発見した武州世直し一揆史料(斎藤洋一)、「世直し一揆」像の虚実(森安彦)、武州世直し一揆の「ちょぼくれ」(大館右喜)／付録 慶応二年六月武州世直し一揆勢の身元判明者一覧表、慶応二年六月武州世直し一揆対象者一覧表(近世村落史研究会編)

◆武相民権家列伝 民権ブックス30

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会(〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2017年3月 A5 107頁
2016年度自由民権資料館三〇周年記念特別展《武相民権家列伝》の記録(2016年7月30日～11月27日)／記念講演Ⅰ 山口左七郎とその同志たち―湘南社をめぐって(野崎昭雄)／記念講演Ⅱ 北多摩の民権家、吉野泰三とその同志たち(梅田定宏)／記念講演Ⅲ 橘樹の民権家、井田文三とその同志たち(石居人也)

◆南朝諸録要諦

―「南山雲錦拾要」ここに展かる
南朝皇愛会 山地悠一郎著 八幡書店(〒142-0051 東京都品川区平塚2-1-16 KKビル5F TEL03-3785-0881) 2017年3月 A5

223頁 3880円

美術後南朝史の研究(杉本壽)／甲州・秋山村における吉野朝時代の二つの伝承(山地悠一郎)／紀伊・野長瀬家の周辺の研究(杉本壽)〈南山雲錦拾要を基調とした作品〉まほろしの秘書『南山雲錦拾要』とは何か(山地悠一郎)／南朝の皇胤、伊勢北畠家に埋没し終る(山地悠一郎)／「大塔宮熊野落の事」に関する疑義(山地悠一郎)／地方文書に見る楠正儀の評価(山地悠一郎)／南山雲錦拾要(影印版)
◆碑文より見た近世・近代の相模国の民衆史 津田守一著(〒258-0017 神奈川県足柄上郡大井町452) 2016年9月 B5 224頁 誌代無料(希望者は送料350円分の切手にて申込み)
長年にわたり仏教考古学研究を続けてきた著者の相模国民衆史研究。秀學による六字名号碑の造立と安政五年のコレラ調伏について／山市場地蔵堂の行幹銘の六字名号塔と安政五年のコレラ流行の関連について／山北の木食観正碑よりの考察／山北町山市場地蔵堂の行幹による六字名号軸と小田原市長善寺と宮窪観音堂の秀學の六字名号軸について／山北町を中心とした地域の信州高遠土工の活動についての考察／山北町谷ヶ字大河原の砥石採掘の歴史的考察／足柄上郡地域の日本産狼の歴史的考察／山北町向原金鉢寺、寺伝の研究／古義真言宗寺院と高野山高室院の関係について／足柄平野における礫石経塚造営について／伊東希元による男子・女子敬業学舎の創設について／宮田寅治による学校創設運動と私立中郡盲人学校／武蔵・相模国における石橋供養塔の造立を支えた人びと／武蔵・相模国における石橋供養塔の調査報告Ⅱ／神奈川県に残された西南戦争軍人戦死之碑と石橋建立について／建久六年十一月、吾妻鏡に現れる大庭御厨侯野郷の大日堂と大日如来像のその後について／神奈川県中郡大磯町、浄土宗大蓮寺の一字一石塔について

◆藤沢町誕生期の議会―明治41年度

藤沢市史料集41
藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2017年3月 A5 89頁
藤沢市の行政文書の中から、明治41年(1908)の旧藤沢町成立期の議会に関する史料「議案及決議書綴 藤沢町役場」と「町会会議録 藤沢町」を取録する。旧藤沢町は、明治40年に成立した藤沢大坂町、鶴沼村、明治村が合併したもので、昭和15年(1940)の藤沢市制施行まで続き、収録した議会史料からは、新たに発足した町政に対する町長・議員の思いや当時の藤沢町の財政状況などもうかがいすることができる。解説 明治期の町村制および町村議会の制度について／藤沢町誕生期の議会―明治41年度

◆歴史をひもとく藤沢の歴史 2村岡地区

藤沢市文書館編・刊(同上) 2017年3月 A4 94頁
1967年から始まった藤沢市史編さん事業の成果として刊行された『藤沢市史料所在目録稿』1～25(1969年～1994年)などをふまえて、2016年の御所見地区につづいて地区別にまとめられた資料解説・目録集第2集。画像でみる村岡／村岡の歴史をひもとく／村岡の歴史資料／付属CD-ROM 藤沢市文書館資料目録(村岡地区)、藤沢市文書館写真目録(村岡地区)、寺社の縁起(釈文)

◆郡内領上吉田村明細帳・白須市左衛門年々日記・橘屋勘右衛門日記 富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書1

富士吉田市立歴史民俗博物館編(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田2288-1 TEL0555-24-2411) 富士吉田市教育委員会刊 2017年3月 A4 214頁
1979年「富士吉田市郷土館」として開館した富士吉田市立歴史民俗博物館(ふじさんミュ

ージアム)の資料叢書第1集。平成28年度に実施した古文書調査の成果を翻刻・収録する。創刊の辞(渡辺公彦)/解説 享保十二年閏正月 郡内領上吉田村明細帳、天明二年～文化十四年(白須市左衛門)「年々日記」、寛文七年～元禄十五年 橋屋勘右衛門日記(菊池邦彦・荒川辰美)/資料

◆辰野町の石造文化財

辰野町文化財保護審議会編 辰野町教育委員会(〒399-0493 長野県上伊那郡辰野町中央1 TEL0266-41-1111) 2017年3月 B5 547頁 1800円 発行:ほおずき書籍(〒381-0012 長野市柳原2133-5 TEL026-244-0235) 平成14年4月に発足した「辰野町石造物調査会」により平成17年度まで行われた5700基余の町内石造物悉皆調査の成果をまとめる。平成19年度から『辰野町資料』8冊に分けて掲載された資料を再編集し、全文掲載が困難な「辰野町の碑」CD-ROMを添付する。辰野町石造物調査の流れ/辰野町の沿革/各地域の石造物 北部地域(小野、横川)、西部地域(上島、今村、宮所、小横川、宮木、新町、羽場、北大出)、辰野地域(唐木沢、上辰野、下辰野)、東部地域(平出、沢底、赤羽、樋口)/特徴のある石造物(種類別石造物、石工別石造物、揮毫者別石造物)/関連資料

◆柳田国男入門 伊那民研叢書2

福田アジオ著 柳田国男記念伊那民俗学研究所(〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118) 2017年3月 A5 119頁 900円 1990年の開設直後に刊行された「伊那民俗ブックス」(『伊那谷の民俗学を拓いた人々』I・II、1991・1992)をひきついで創刊された「伊那民研叢書」第2輯。第二期「民俗学入門講座」(2013年11月～2014年5月、6回)の講義録。柳田国男の生涯と民俗学/山人の民俗学/農村恐慌と民俗学の確立/戦後改革

と柳田国男の使命感/サンフランシスコ条約と柳田国男/柳田国男の怒りと失望/柳田国男略年譜/読書案内

◆「丹後の海」の歴史と文化

京都府立大学文化遺産叢書12 藤本仁文編 京都府立大学文学部歴史学科(〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5259) 2017年3月 A4 242頁 京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産についての成果報告第12集。序章 本書の視覚と構成(藤本仁文)/環日本海域と「丹後の海」丹後の海と神仏(小山元孝)、コラム 丹後と朝鮮半島(井上直樹)、近世丹後の漁業と若狭湾(東幸代)、丹後国久美浜代官所領の御城米舟と江戸(山田洋一)、幕末維新时期宮津三上家の廻船業(藤本仁文)、引き揚げと舞鶴(長嶺睦)/「丹後の海」と人々の暮らし 冠島の信仰と大浦三ヶ村(廣瀬邦彦)、近世丹後沖の海難事故と地域社会(稲穂将士)、コラム 海と川の結節点—由良(吉野健一)、伊根浦への諸国廻船の入津について(吉野健一)、近世丹後国加佐郡成生村と漁業(東昇)、コラム クジラリヤイルカの獲れる海—伊根浦(吉野健一)/「丹後の海」と文化遺産 舞鶴湾から若狭湾・日本海へ(小室智子)、コラム 岩滝の船主と船名が刻まれた玉垣(吉野健一)、近世・近代の宮津の海上交通と廻船(河森一浩)、宮津市府中地区の板碑調査から(菱田哲郎)

◆西宮歴史調査団年報 2015年度版

西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・刊(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298) 2017年3月 A4 35頁 西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成27年度における活動記録。平成27年度の活動概要/石造物の調査/橋梁の調査/古文書の調査/竜吐水の調査/活動報告会/調査を終えて/

付載 「西宮歴史調査団通信」2015年4月号～2016年3月号

◆歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体との連携事業(15)

平成28年度事業報告書 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編 神戸大学大学院人文学研究科(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566) 2017年3月 A4 53頁 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターが2002年から進めている事業の報告書。歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体との連携事業の進捗状況について(奥村弘)/地域の歴史文化をめぐる情報の共有や交流の促進「第15回歴史文化をめぐる地域連携協議会 地域歴史文化をめぐる〈場〉—つながりを生み出す環境づくり」/歴史文化を活かしたまちづくり支援と自治体史の編纂協力/歴史資料・災害資料の保全・活用/地域歴史遺産を活用できる人材の育成/地域連携センターを拠点とするプロジェクト/地域連携研究と研究成果の発信/参考資料

◆『日出新聞』奈良県関係記事Ⅲ

奈良県同和問題関係史料18

◆後記

1月の末から『地方史文献年鑑—郷土史研究雑誌目次総覧』2017の編集作業を始めている。早いもので21年(冊)目になる。本誌登載記事を元データとしているが、本誌の採録は岩田書院への寄贈雑誌のみである。そこで、都道府県立図書館などで遺漏を補い、完全を期している。この補充調査に、今年も43の道府県立図書館と1専門機関、2人の個人に協力いただいている。調査はかなり手のかかるものと思うが、長年にわたって快く引き受けていただき、誠にありがたいことで感謝に堪えない。若い職員の郷土資料を知る機会と位置付けたり、毎年これにより未所蔵の郷土史研究雑誌をチェックしてくれる図書館もある。公立図書館は「地域づくりの拠点となりうる基礎的な施設」(山口源治郎「自治体行政が責任を持ってこそ公立図書館は発展する—設置の目的を効果的に達成するために」『出版ニュース』2017年10月中旬号)であり、それには郷土資料と地域に熟知した専門職員の存在が欠かせないと思う。負担をお願いしている立場で僭越ではあるが、『地方史文献年鑑』の補充調査が、都道府県立図書館にとって、郷土資料を充実させるきっかけになってくれればと願うものである。(飯澤)

奈良県立同和問題関係史料センター編・刊(〒630-8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488) 2017年3月 A5 170頁 既刊の奈良県同和問題関係史料16『『日出新聞』奈良県関係記事Ⅰ』(2015年3月)、同17同Ⅱ(2016年3月)に引き続き、現在の『京都新聞』の前身である『日出新聞』(明治18年<1885>4月10日創刊、同30年7月1日『京都市日出新聞』改題)の、明治22年4月から同年12月までの奈良県に関する記事を翻刻・収録。

◆福岡祭事考説

佐々木哲哉著 海鳥社(〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町13-4 TEL092-272-0120) 2017年2月 A5 288頁 5000円 祇園祭りや神幸祭、宮座などの祭り、そして神楽、獅子舞、流鏝馬、相撲などの神事芸能まで、丹念なフィールドワークと綿密な文献調査で祭事のメカニズムに迫り、その本質的な意味を探る、著者の地域民俗研究60年の成果。豊前今井津の祇園祭り/筑前博多の松囃子と祇園山笠/筑後瀬高のドンキャンキャン/筥崎宮の御神幸/田川郡添田町落合の宮座/筑前神楽の系譜/福岡県の獅子舞/福岡市飯盛神社の流鏝馬/福岡相撲考

地方史情報 135 2018年(平成30年)3月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757